ふじいあきこ
with 秋山道夫
成年コミック
W
ダブルオー スリー
III
愛欲の黄金律

どれを読んでも面白タイム

WANI MAGAZINE COMICS

小鉄の大冒険①～⑦ ―― MEE
燃えよ鉄人　全4巻 ―― MEE
えっちーず[etʃi:z]①～④ ―― 陽気婢
霊能探偵ミコ①～⑥ ―― 井荻寿一
DRAGON ERASER①～③ ―― 時坂夢戯
「感じる年頃…」「愛♥したい」全2巻 ―― 相沢早苗
「恋する方程式」「少女発熱」 ―― 文月晃
TWIN SPARK GIRLS①② ―― 桐生知彦
Miss Moon ―― 飛龍乱
少女幻想怪錦絵 ―― えのあきら
星に願いを㊤㊦ ―― 天竺浪人
ABILITY① ―― MARO
OO(ダブルオー)背徳の引力 ―― ふじいあきこ
OOII 純潔の反作用 ―― ふじいあきこ
OOIII 愛欲の黄金律 ―― ふじいあきこ
ときめきの引力 ―― 大塚ぽてと
めぐりくるはる①② ―― OKAMA
HANA-BIRA ―― 川本貴裕
陽のあたる場所 ―― 華沢れな
恋という名の病 ―― 華沢れな
水の誘惑①② ―― 氷室芹夏
神様の言うとおり ―― RaTe
さすらいナース純情派 ―― 越野卯月
SPEED①② ―― 山本賢治
シノビノサクラ ―― かるま龍狼
メロドラマティック ―― 玉置勉強
LIZARD KING① ―― 馬場康士
スチームガール ―― うらまっく
ラブスナイパー ―― 佐野たかよし
緊急入院三泊四日 ―― 板場広し
薔薇の雫 ―― 中島初美
どきどきトラベル ―― マーシーラビット
東京夜空 ―― 夏蜜柑
SWEET COMPLEX①② ―― 仙台魔人
ひまわりの咲く店 ―― 伊武秀吉
熱い蜜の扉 ―― 南智子&きょん
メイドDEマーメイド ―― 中村みずも

特選コミックス

秘宝KAN ―― アンソロジー
天界公路①② ―― 琴吹かづき
可愛い教え子 ―― 菓子山美里

※品切れの時は書店にご注文ください※

ダブルオー　スリー

W 愛欲の黄金律 III

ふじいあきこ
with 秋山道夫

ダブルオー　スリー

003 III

愛欲の黄金律

ふじいあきこ

with 秋山道夫

CONTENTS

COOK～甘美な晩餐～ ——— 3

BOOT～踏みしだく戦慄～ ——— 27

WOOD～追憶の樹の下で～ ——— 49

ROOF～星空の誘惑～ ——— 73

BOOK～官能の頁～ ——— 95

MOOD～蠱惑の旋律～ ——— 119

DOOM～狂艶の終幕～ [前編] — 143
[中編] — 167
[後編] — 175

あとがき ——— 197

●この作品は「ヤングHIP」'98年7月号～'99年3月号に掲載されたものを加筆収録いたしました。

COVER DESIGN=studio SEVEN

あ…
ああっ
せ…せんせ
やめてえ…
~甘美な晩餐~
COOK

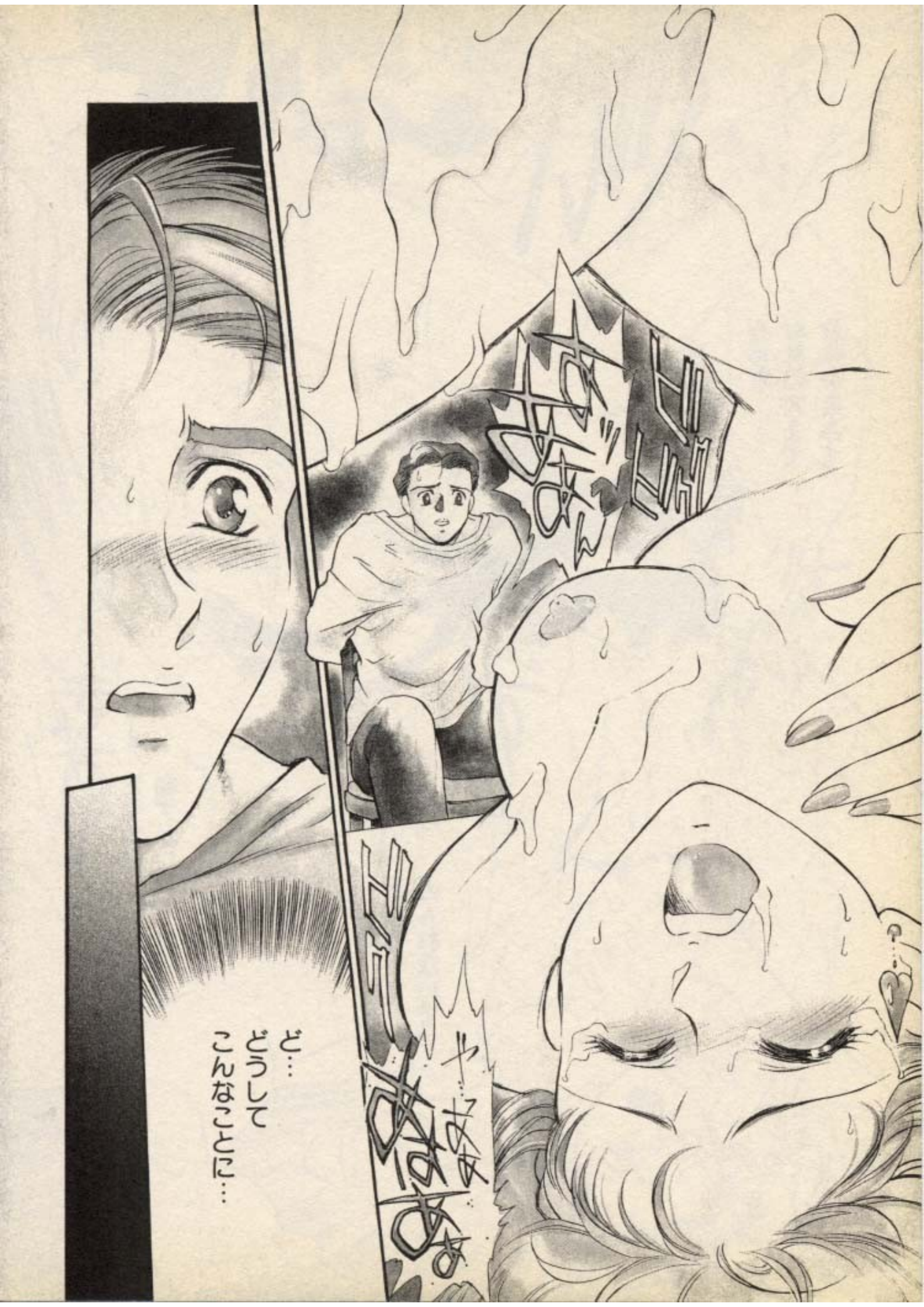
ああ
いやあ
唯(ゆい)!
あなたあ
やあ…見ないでえ
泣いちゃダメ
せっかくのキレイな
デコレーション(だいな)が
台無しよ…

でも…
涙の塩っ気が
隠し味に
なるかしらね？
ほら…できあがり
素敵よ…唯さん
紅潮した肌に
白いクリームが映えて
とってもキレイよ
う…
やあ…

でも…
まだ何か
足りないわ
ねえ…
ああ
そうだ
リキュールを
忘れていたわ

ふふ…
じっとしていないと
粘膜から吸収して
悪酔いしちゃうわよ
あ…やあっ
そんなトコ…ッ
奥の奥まで
飲み干してあげる

きゃあ!?
先生やだ
恥ずかしい…ッ
いやいやあ
そんなトコ
舌入れないでェ
あぁら
お尻の穴まで
お味が染みて


ど…
どうして
こんなことに…

ゴメンね〜〜〜
また今日も
変な味で〜〜〜

そんなことないよ
愛情こもってて
美味(おい)しいよ

ううん
あたし決めたの
お料理教室に
通うわ

あなたに
美味しいもの
食べさせたいの

元気ないわね
唯さん
…傷が痛むの?
見てらしたんですか
こんなにキレイな指なのに…
可哀想
いえっ その違うんです
あたし お料理下手だから…
夫に美味しいもの食べさせたいんですけどどうしたら…
そうなの……
じゃあ…手助けしてあげる
お宅にお邪魔していいかしら?
本当ですか?嬉しいですう

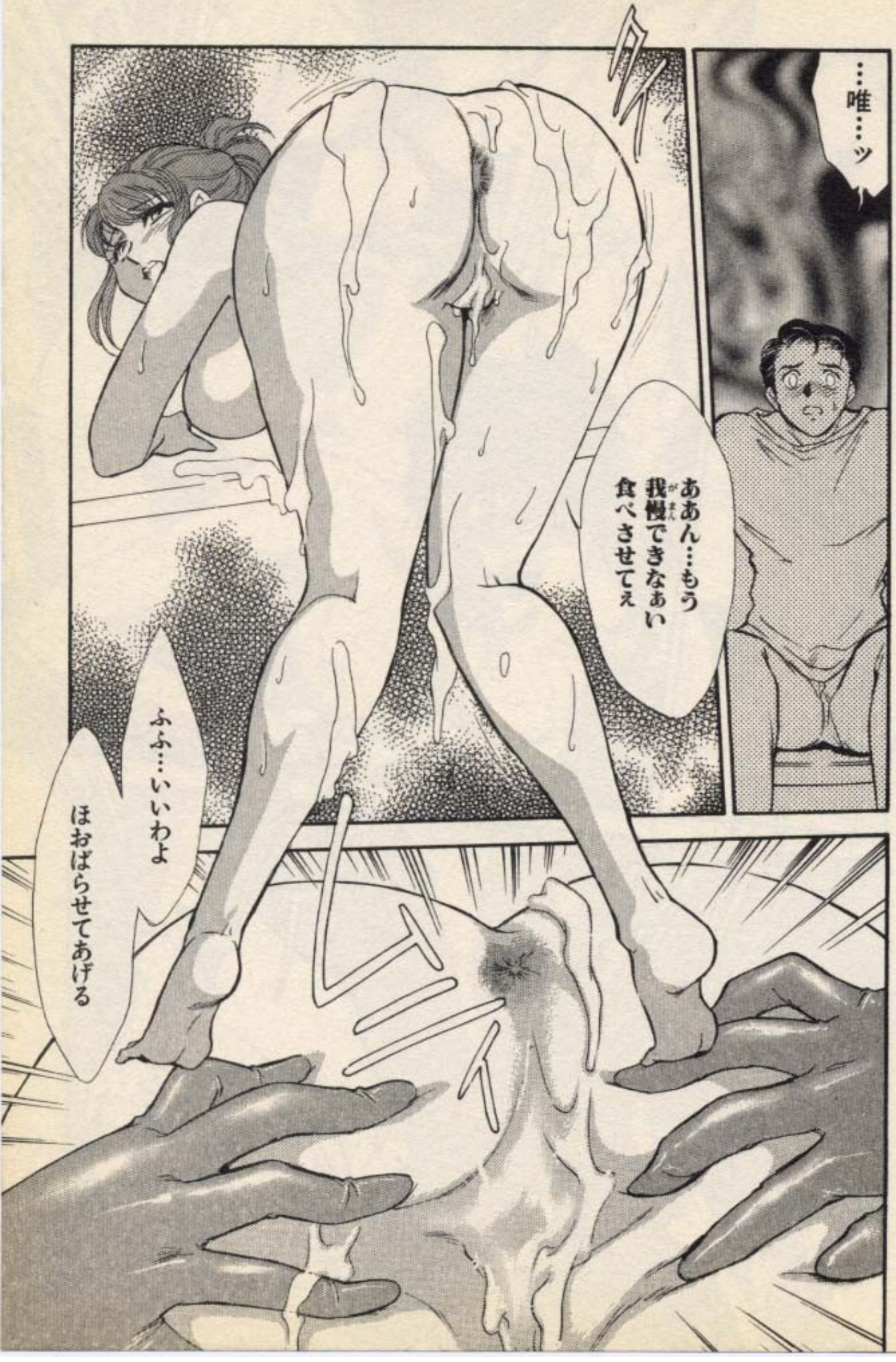
お邪魔しまぁす
あなた
お料理教室の先生が
特別指導して
下さるのよ
それはわざわざ
ありがとう
ございます
せ…んせえ
ど…して…
あ…あたし…ただ
夫に美味しい
お料理を…
だから ちゃあんと
美味しく料理してあげる
…あなたをね
あッ

ふふ…可愛いわ
私の指を
美味しそうに
ほおばって…
思った通り
喰いしん坊ねえ
やあ…
せん…せぇ
それ以上
したら…もう
イ…ク

あ…あ
イイわよぉ
そのアクメ顔
やっぱり唯は
イヤラシイ
牝犬だわ
な…
なんてことを…！

あら…
わからなかったの？
夫のクセに
私は一目見て
わかったわよ
この娘は絶対
素敵な愛奴に
なるって…ね

そこで
見てなさい
可愛い妻が
貪欲な性奴になる様を
ホラ 唯
どうしたいの？
言ってごらんなさい
ああ…コレ
食べたぁい


…唯…ッ
ああん…もう
我慢できなあい
食べさせてぇ
ふふ…いいわよ
ほおばらせてあげる

さ
召しあがれ
あ…くぅ
お…いしいィ
すごぉい
アソコ…いっぱいに
なってるぅ

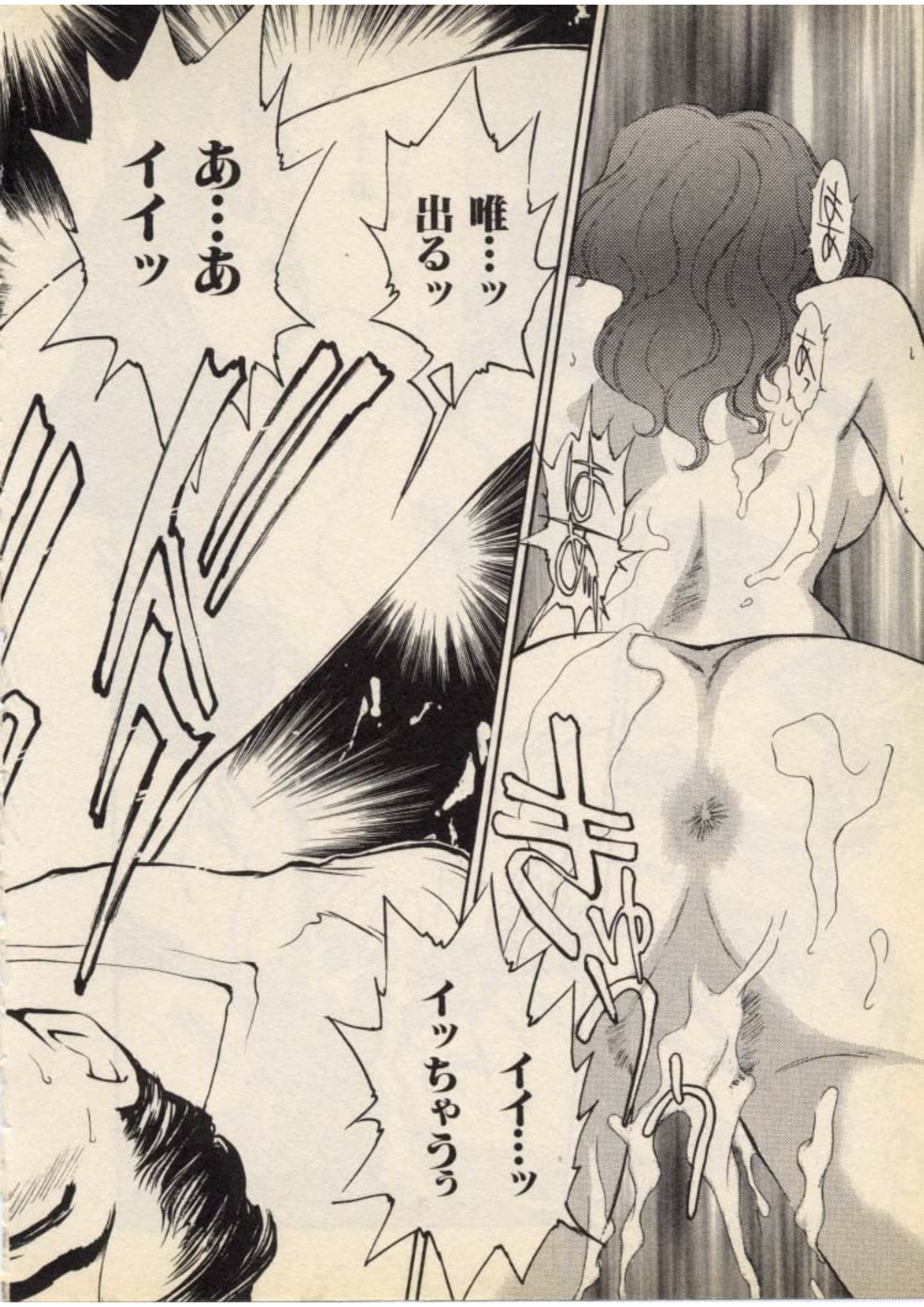
あ…
イイ…ッ
アソコが
気持ち
イイのぉ
んん?
ドコがいいのぉ?
アソコじゃ
わかんないわ
ハッキリ言わないと
もう食べさせて
あげないわよ
やあ…
やめないでぇ
おまんこぉ
おまんこが
イイのよぅ
おまんこ
グチョグチョに
なっちゃうぅ
あ…もう
イキそう…ッ

ひ…ひどぉい
もう少しで
イケたのにィ～～
じゃあ
御主人に本物を
ごちそうして
もらったら？

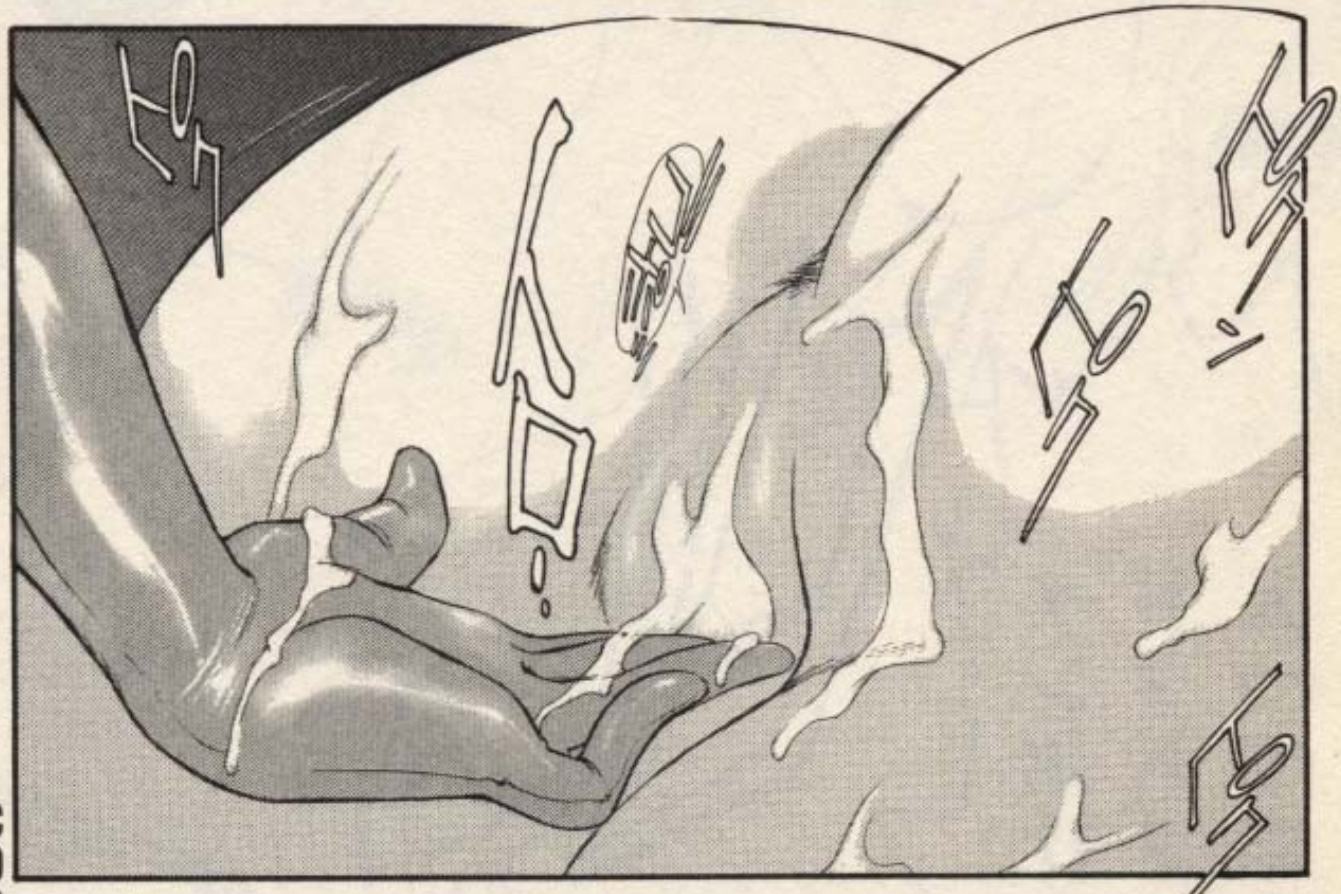
唯…っ
しっかりしろ
…唯ッ!?
あ…あ
美味しそう…ッ
うッ

あむ…ん
ん…ぶぅ
レロレロ
本物のチンポ
美味しいィ～～～ッ
ダメェ
ちゃんと
下のお口に…
おまんこの中に
出してよぉ

あ…あ
チンポいいっ
もっとぉ
おまんこ
チンポで
えぐってぇ
もっとぉ
かきまわしてぇっ


唯…ッ
出るッ
あ…あ
イイッ
イイ…ッ
イッちゃうぅ

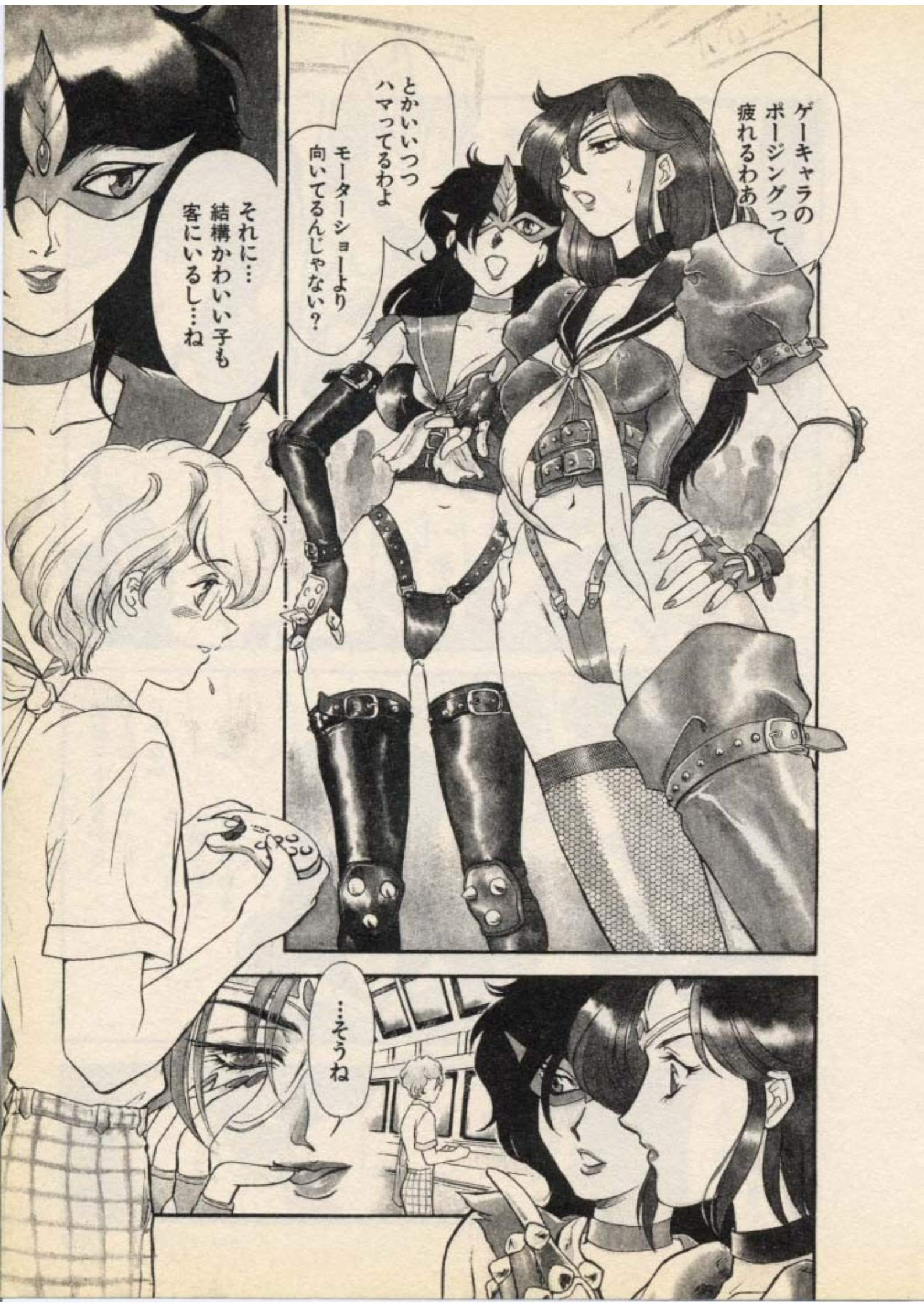
来るゥ
チンポ汁
ドクドク
入って来るぅ



COOK～甘美な晩餐～●完

GALCOM
新作ソフト
体験コーナー
対戦コーナー

勝ちポーズ
お願いしまーす
フフン
いいわよぉ
「まだまだネ
ボーヤ♡」
BOOT
～踏みしだく戦慄～


ゲーキャラのポージングって疲れるわあ
とかいいつつハマってるわよ
モーターショーより向いてるんじゃない？
それに…結構かわいい子も客にいるし…ね
…そうね

あんたホント
ショタ好きねェ
あん
ホラ
湿ってきてる
やだ
もお

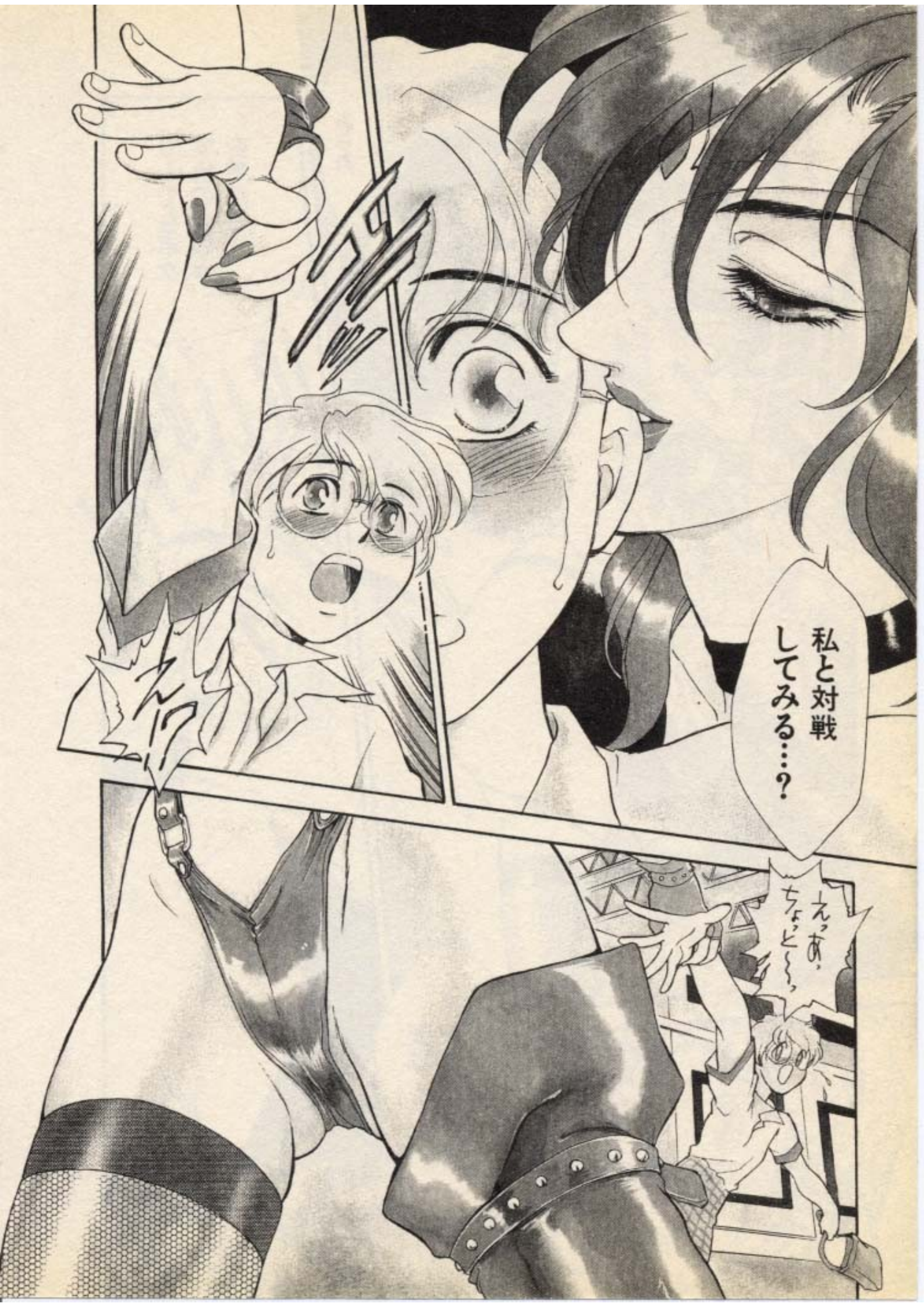
変なコトするから
もよおしちゃった
じゃない
ちょっと
休憩させて
もらうわよ
どーぞ

スッキリ
してきなさい

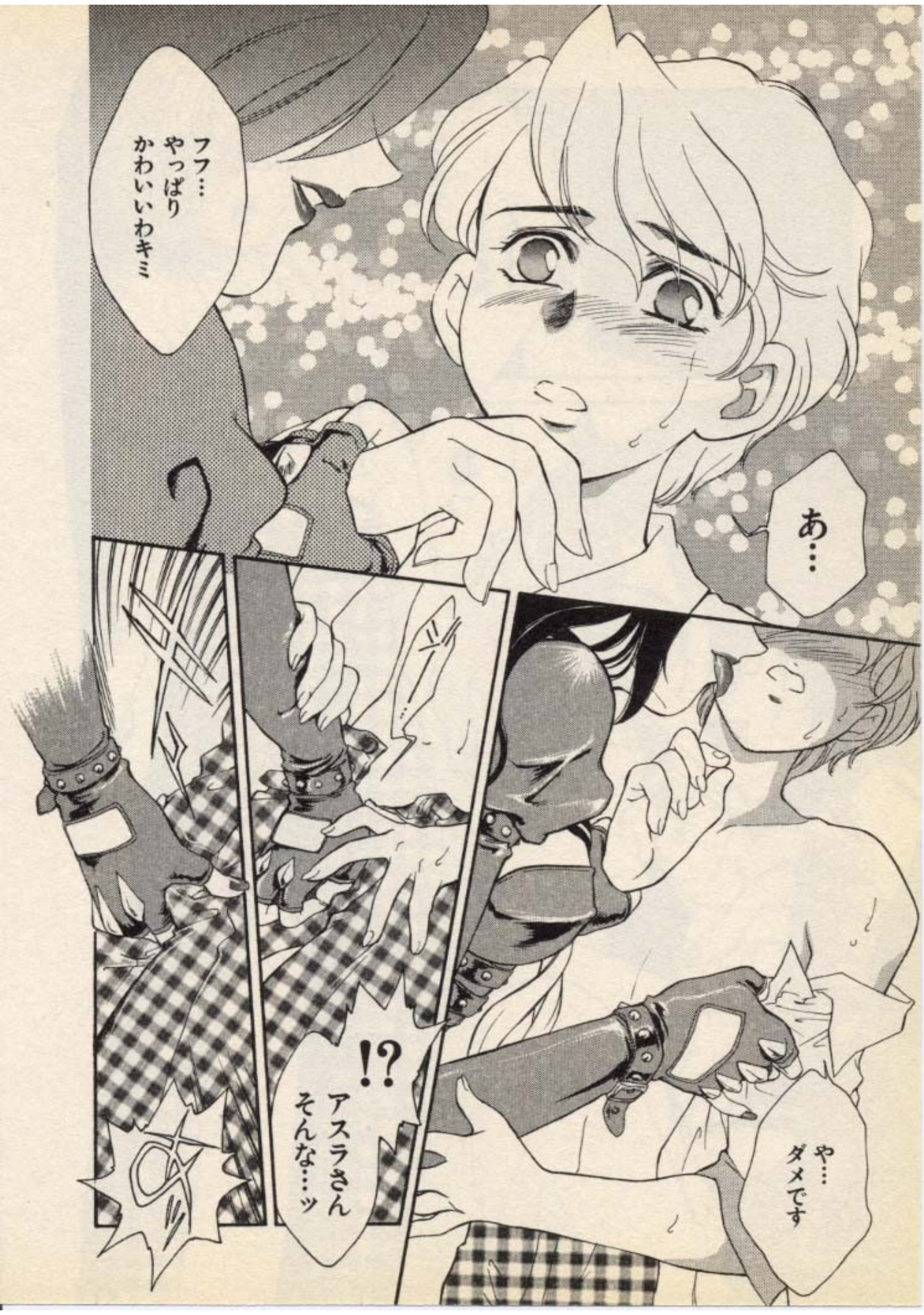
ちょっとキミ…
いい？
あ
へえ
よく知ってるのね
プレイしたの？
「仮面少女伝奇
アスラ」の
2Pアスラさん…！

少しは…
でもボク
格ゲーは苦手で…
恋愛ゲームの方が
好きなんです
…「ときメモ」とか…
フーン…
そうなの
でも…
キミみたいに
キレイなコなら
ゲームでなくても
女のコがほっとかない
と思うけどぉ？

で…でもボク
本物の女のコ
苦手だし…
あらあ
女のコなんて
ゲームとおんなじ
要は
やり込み次第だわ…
え？
え!?


私と対戦
してみる…？
えっあ、
ちょっと～～

こ…
こんな所に
連れて来て…
どーする気
なんです?
あっ


フフ…
やっぱり
かわいいわキミ
あ…
や…
ダメです
!?
アスラさん
そんな…ッ

クス…ッ
ココも
かわいい

ああ
…出ッ

フッ
ダメな子ねえ
残り汁をブーツにこぼすなんて

さあ
ペナルティよ
…おなめ！
う…っ
どお？
自分の汁は…
おいしい…？

でも…
私のオマンコは
もっとおいしいわよ
ん…ッ
んん〜ッ

あらあら
もうビンビン
そんなに
オマンコの味が
気に入った？
ハムハム
じゃあ…
ちゃんと味わわせて
あげるわね
ほおら…
入っちゃった
あ…あッ

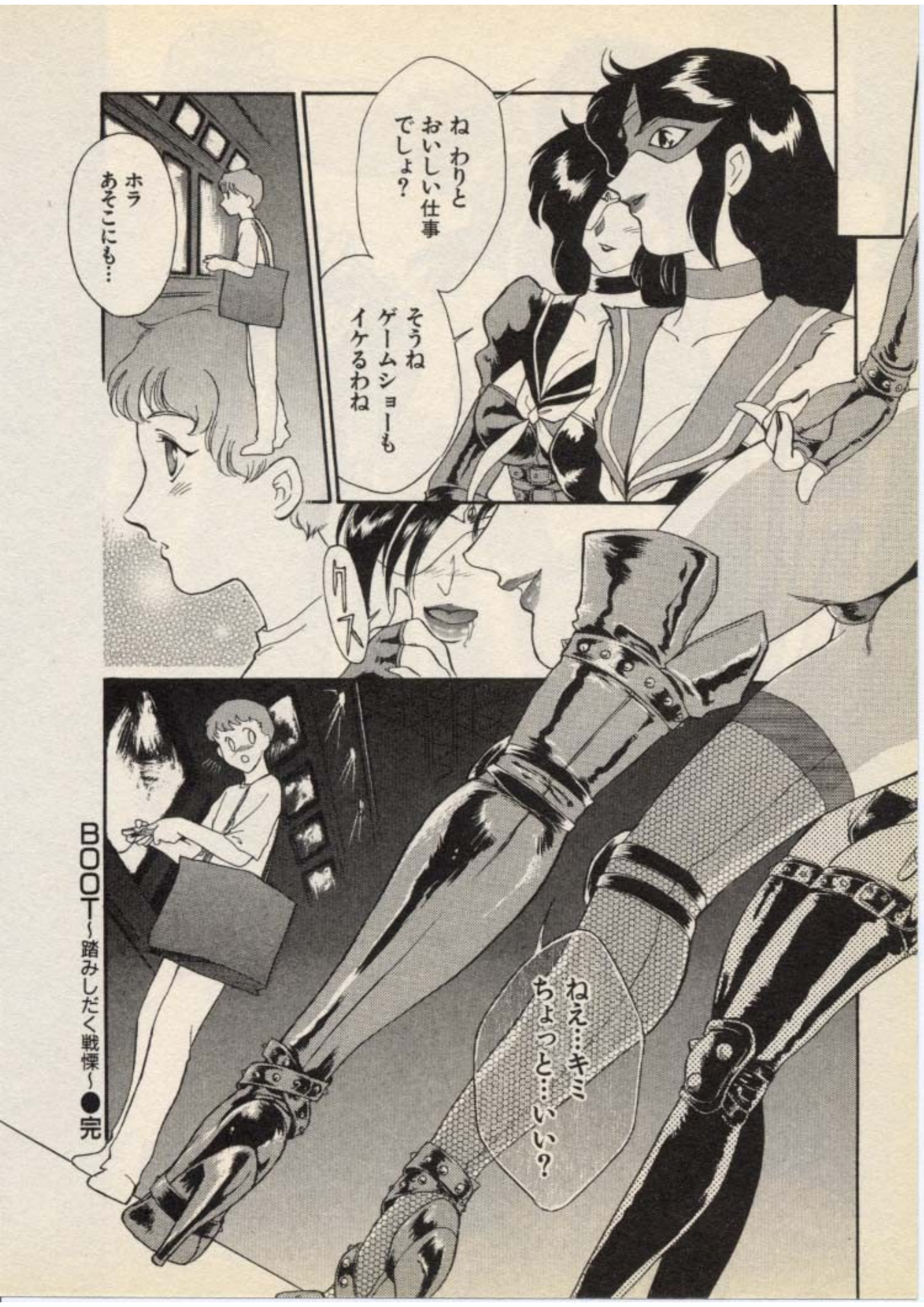
や…ダメ
アスラさん
こんな…ッ
誰か…来ちゃう
見られちゃうよぉ
見られるのは
イヤ？
そのわりには
キミのチンポ
私の膣でカチカチに
はりつめてるじゃない
人目につきそうな
トコで犯されて
感じてるのよキミ
フフフ…
イヤラシイ子ね
あ…あ
ああ
ふ…うっ

よぉく
見てなさい
キミのチンポ
オマンコが
くわえてるわよぉ
あ…
ああっ

あ…イイ
…イク…ッ

ふふ…キミ
筋(すじ)は悪くないわ
――でも

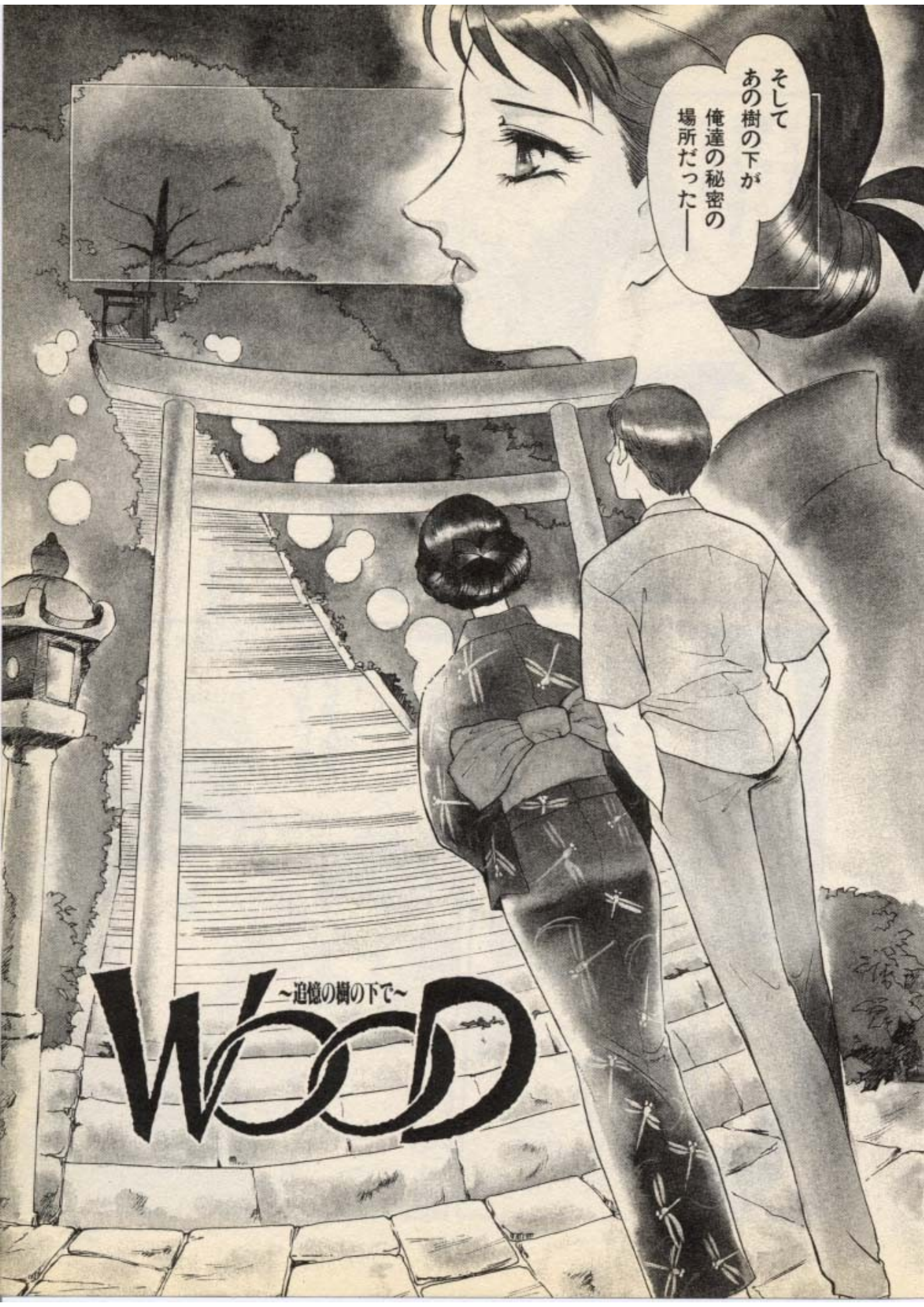
まだまだネ
ボーヤ♡

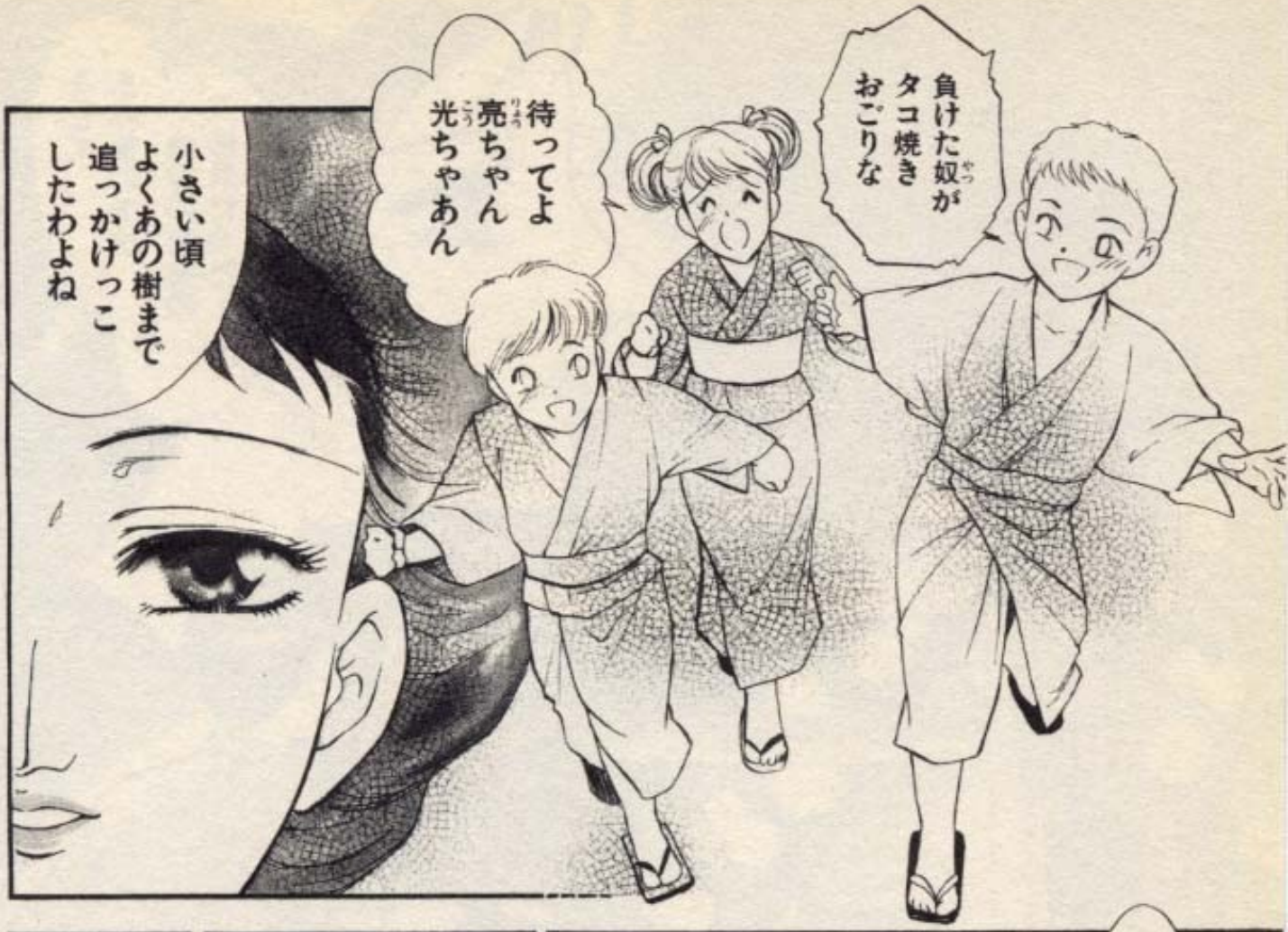


BOOT～踏みしだく戦慄～●完

あッ
ちえーっ
ガキの頃は
上手かったのに
よし
もう一回

ドン
ドン
ドン
二人で祭りに
来るのは…
…初めてね
昔は…いつも
一緒に来てたのにな
俺と…兄貴と…
義姉(ねえ)さん…と


そして
あの樹の下が
俺達の秘密の
場所だった——
～追憶の樹の下で～
WOOD


負けた奴がタコ焼きおごりな
待ってよ亮ちゃん光ちゃあん
小さい頃よくあの樹まで追っかけっこしたわよね

あの頃は…
三人していつも一緒に遊んでたわね…
本当の兄弟みたいに
そして…今じゃ俺達は本当の義姉弟になったって訳だ
……

光ちゃんは
いつまで地元に
いられるの？
あ？
ああ

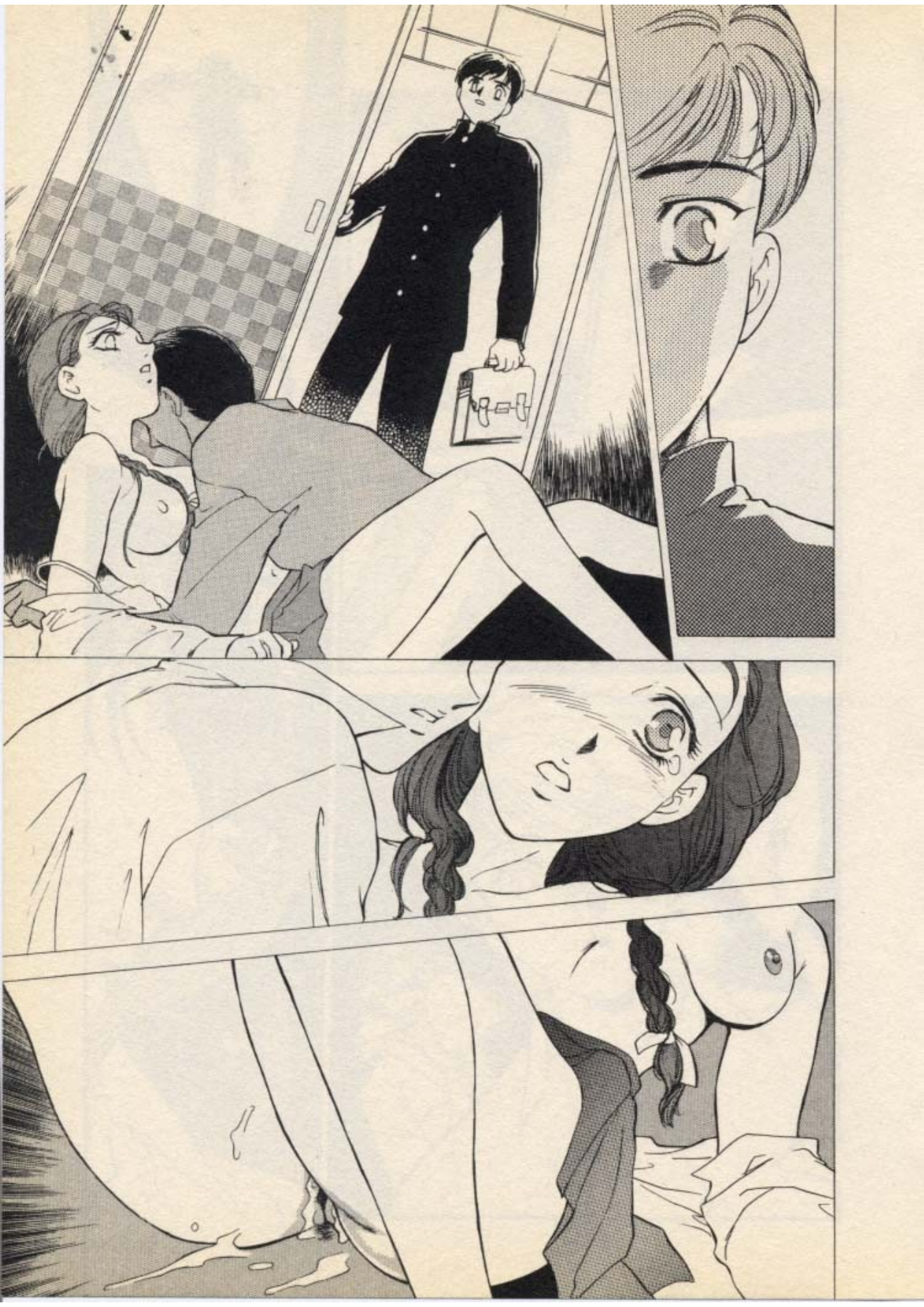
兄さんの
墓参りも
済んだことだし…
明日か…
明後日には戻るよ
卒論もあるし
就職の件も…
地元で就職
するんじゃ…
ないの？
うん…
先輩のコネでね
向こうで何とか
なりそうだから…
そう…ね
あの人……
亮ちゃんの頃より
就職難だもんね…
こんな田舎じゃ
仕事そのものが
ないし…
仕方が
ないかあ
……でも

あの頃みたいに
一緒にいられたら
いいのにねえ
残念だわ
…え？
何でも
ないよ
そうだ…
あの樹へ行って
みようか
久しぶりに
平気でそんなこと…
……酷いね
義姉さんは…

懐しいな…
ここに来るのは
何年ぶりだろう

ああ…
まだ残ってた
誓いの言葉…

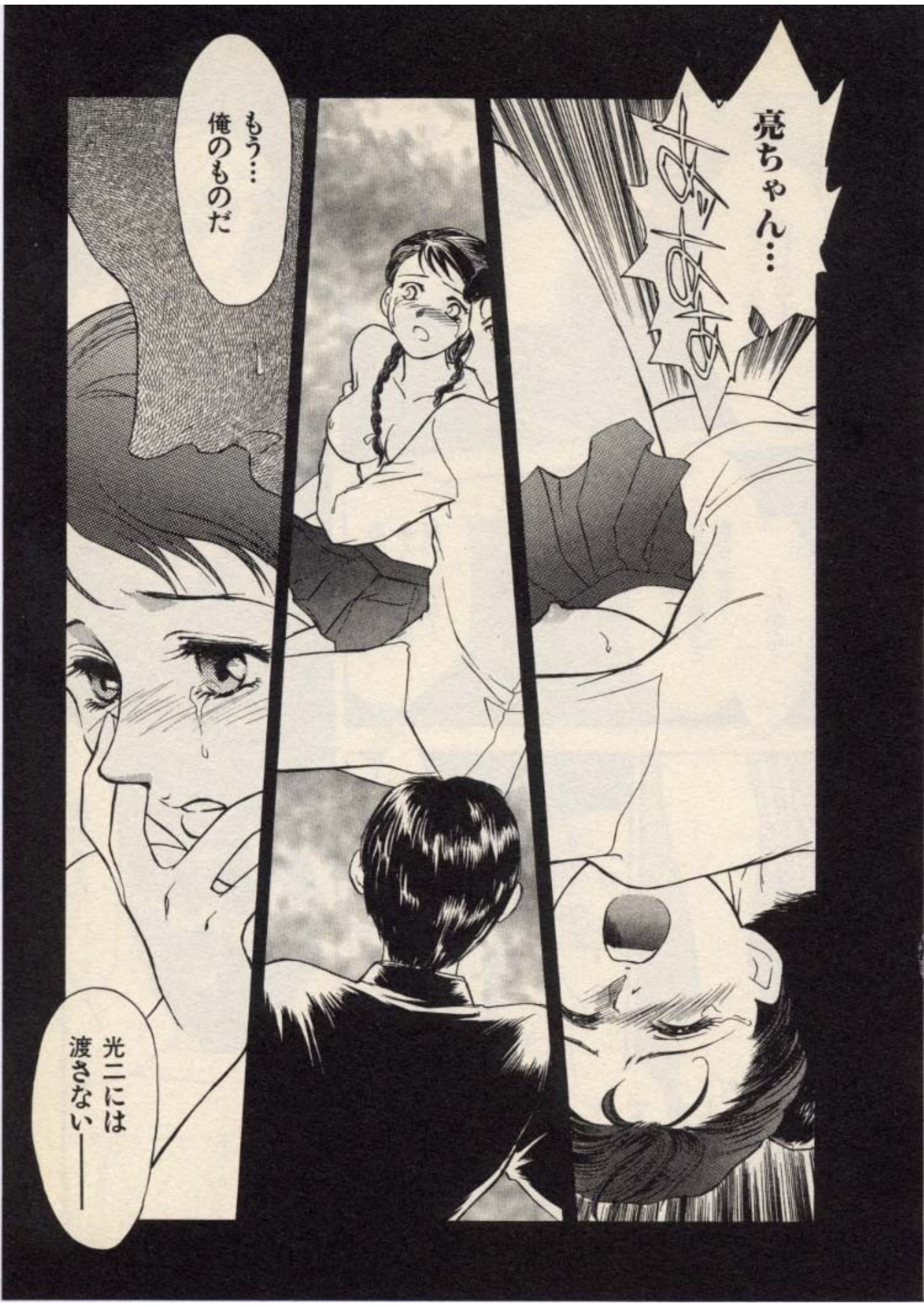
いいか絶対
三人ずっと
仲良くだぞ
うん
約束だね
ぬけがけは
ナシだぜ
兄貴
ああ…
あの樹にかけて



誓いを破って
ぬけがけしたくせに
あっけなく
くたばりやがって…
…バカ兄貴…
これ…は…？

義姉さん？
これ…何？
それ…は…
どうして…？
何があったんだ!?

亮ちゃん
この本借りていい？
何なの
話って…？
…見たよ
あの樹の…
誓いの樹の
相合傘…
！
いつの間に…
光二と…
ちが…
そうじゃ
ないの
あれは…
や…！
やめて
亮ちゃん
ああ

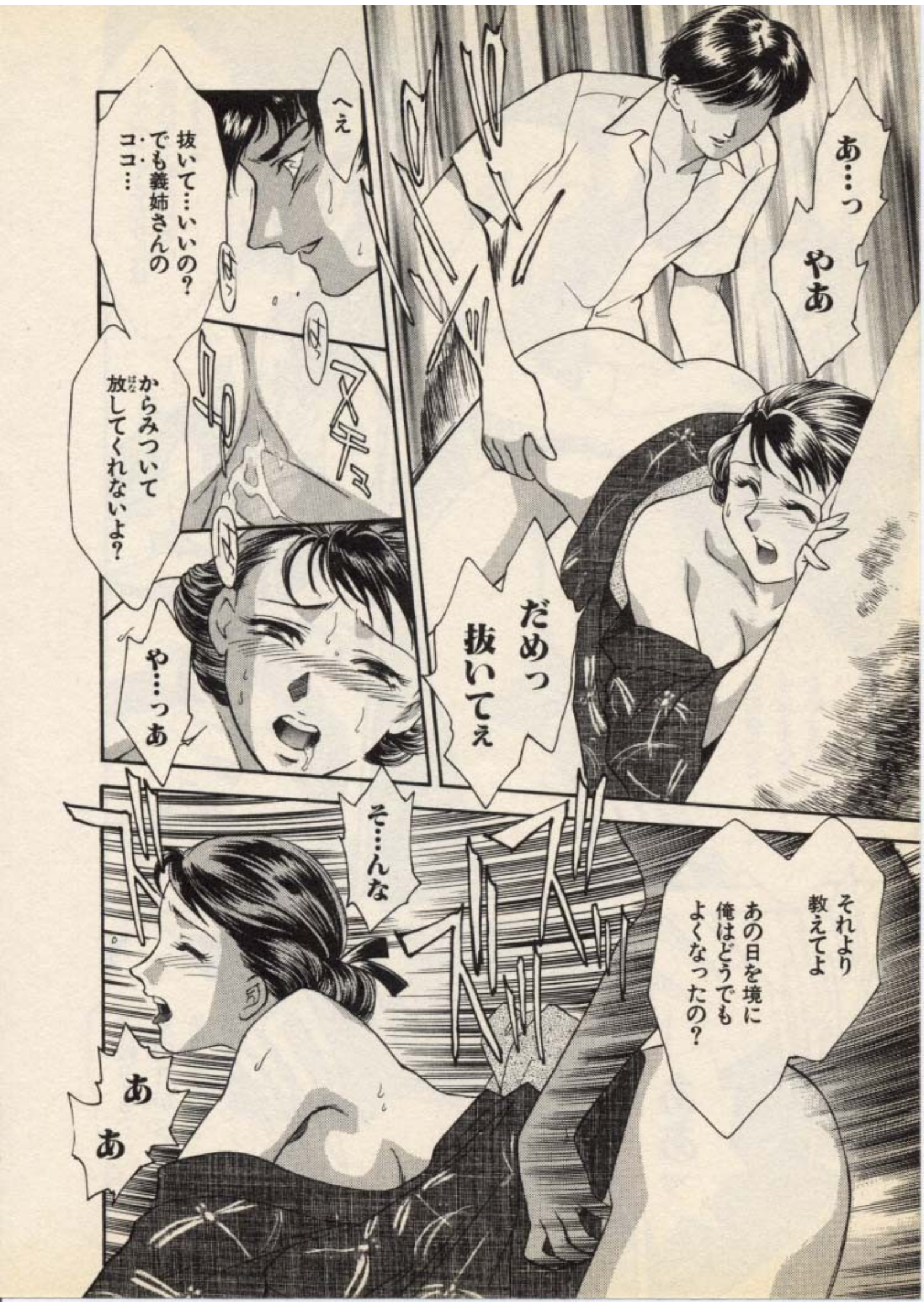

亮ちゃん…
あぁぁぁ
もう…
俺のものだ
光二には
渡さない——

義姉さん…
そうよ…
相合傘を
彫ったのは私
光ちゃんの名を
消したのも…私
あの日…
あんなことに
なったから…
私…あの人の
ものになろうと
身も心も…
…だから…
だから私は…
……でも
でも……！

やめてッ
何するの!?
兄貴と
同じコトだよ!

だめよ
だって私達は…
どうして？
兄貴はもう
いないのに？
それより…
教えてよ
あの日までは
俺が好きだった
んだよね…
あの日からは？
あ…
いやあ
あっ

イヤがってるわりには濡れて…牝のにおいがするよ
あっ
あ…
この分だと今はまんざらでもないようだね
それとも…あの日からもそうなの？
ああッ


それより教えてよ
あの日を境に俺はどうでもよくなったの？
そ…んな
あ…っ
やあ
だめっ
抜いてぇ
や…っあ
へえ
抜いて…いいの？
でも義姉さんのココ…
からみついて放してくれないよ？
あ
あ

それともあの日からもずっと…俺を好きだった？
もしかして…兄貴に抱かれている時に
俺のことを想ったり…した？

こんな風に
兄貴のチンポ
くわえこみながら
俺のチンポを
想像してたの？
ちが…
そんな事…！
本当に？
あっ
正直に
言わないと…
抜いちゃうよ
いやあ
抜かないで
言うから…
正直に言うから

その通りよ
私
あなたを
想ってた
あの人に
貫かれながら
私は…
いつもあなたを
思い浮かべて
いけないって
わかってたのに…
ずっと…
望んでた
こうやって
あなたに
犯されるのを…
ああ

ああ…ッ
光ちゃんっ
イク…
イッちゃうう
イイッ
感じるっ
すごいのお

はあっ
はっ
はあっ
ズルイなあ
義姉さん
一人でイっちゃって
ホラ…
くわえてよ
俺の…
…あ…
ああ…
欲しかったのぉ
光ちゃんの
チンポぉ…ッ

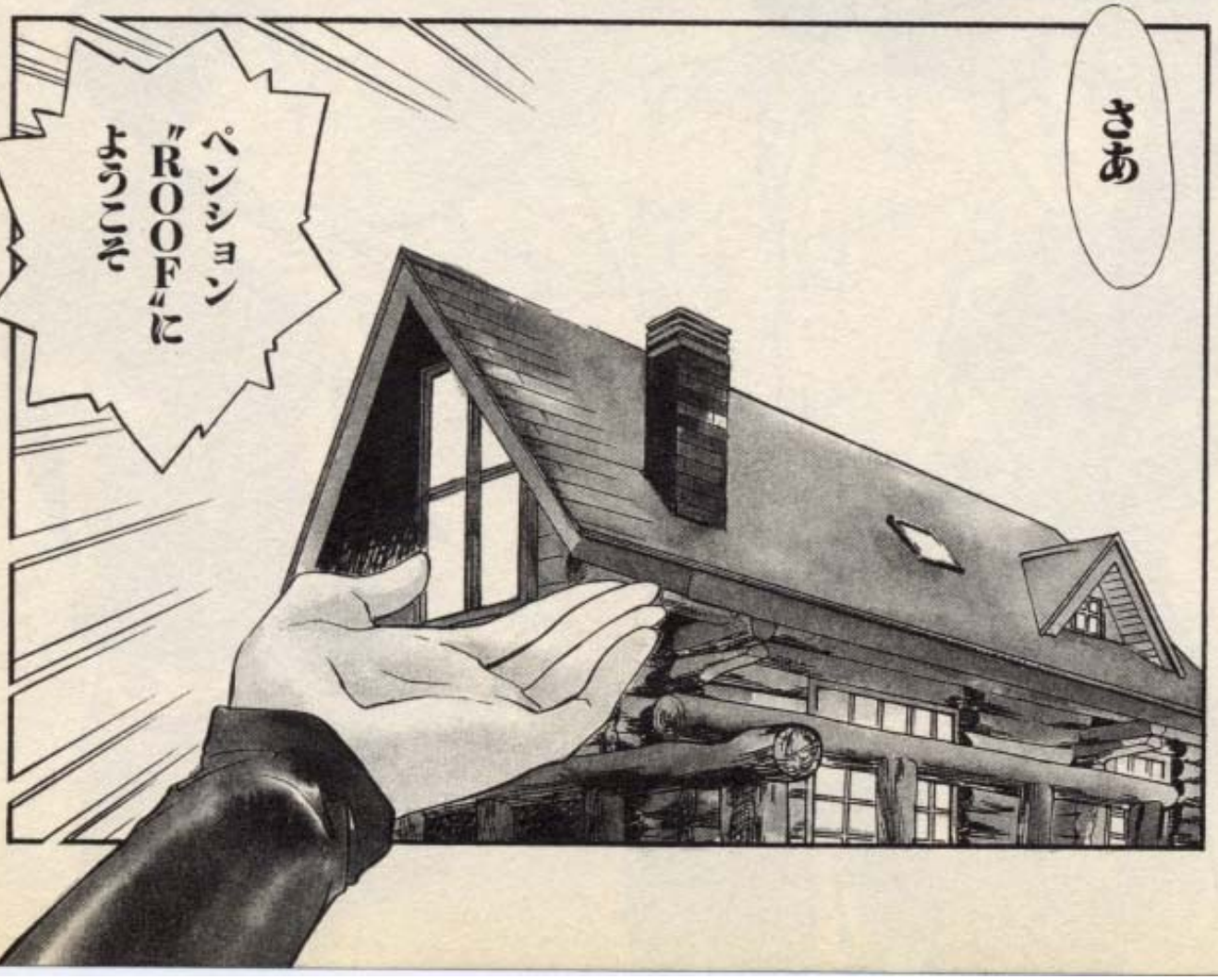
義姉さん…
顔に…
かけるよッ
あ…ッ

えーっと
確か
このあたり…
あ!
すみませーん
あの…
ここって…

あっ
予約して下さった高橋さんですね？
お待ちしてましたわ
お―
あなたぁお客様よぉ
いらっしゃい

実は今
お客さんは
高橋さんだけなん
です
週末まで
予約が全然ないん
ですよ

じゃあ…
僕一人の貸切
なんですか？
そういう
コトですから
自分のお家同様
くつろいで下さいね


さあ
ペンション
〝ROOF〟に
ようこそ

ROOF
～星空の誘惑～

ごちそうさま
あ…
ごめんなさい
お口に合わな
かった?
いえっ
おいしかったです
ただ…
ちょっと
食欲なくて…
……
ね…高橋さん
少しつきあって
もらえます?
え?
何故(なぜ)ここが
"ROOF"なのか
教えてあげる
…?

案内するわ
わっ
ここから出るのよ

足場
気をつけてね
よいしょ
わあ

スゴ…イ…！
キレイでしょ
星空を満喫できる
屋根…これがウチの
自慢なの

ほんとだ…
こうして寝転がってると
星の海に
浮かんでるみたいだ…！
こんな星空
都会じゃ見られないでしょ
……
あ 流れ星

……
実は…僕
失恋したんです
本当は彼女と
ここへ来るつもり
でした
告白して
旅行に誘おうと
思ってたんだけど…
何？
話って
いや…あの…ッ
次のゼミどーする？
結局
何も言えなくて
何もしないまま
僕の恋は
終わっちゃったんです
でも…
この星空見てたら
気分がスーッと
してきました
なんで
クヨクヨしてたのか
信じられないくらい

僕…また
恋をしようと
思います
もっといい恋をして…
今度こそ ふたりで
ここに来ますよ
次の恋は
響子さん
みたいな女性が
いいな…なんて
光栄だわ♡
じゃ…
おまじないを
してあげる

響子さんッ
何を…!?
言ったでしょ
「おまじない」…よ
でも
高橋クンのココは
もう こんなに
カチンカチンよ?
そんな…
ダメですッ
響子さんには
御主人が…
私に夫がいるとか
そんなコトは
問題じゃないわ
あなたは
どうしたいの?
恋したいなら
自分の心の声を
相手に伝えなさい
あ…

したい…です
ここじゃさすがにマズイわね
場所を変えましょ
ごほうびよ
ウフフ…
素直ね
よく言えたわ

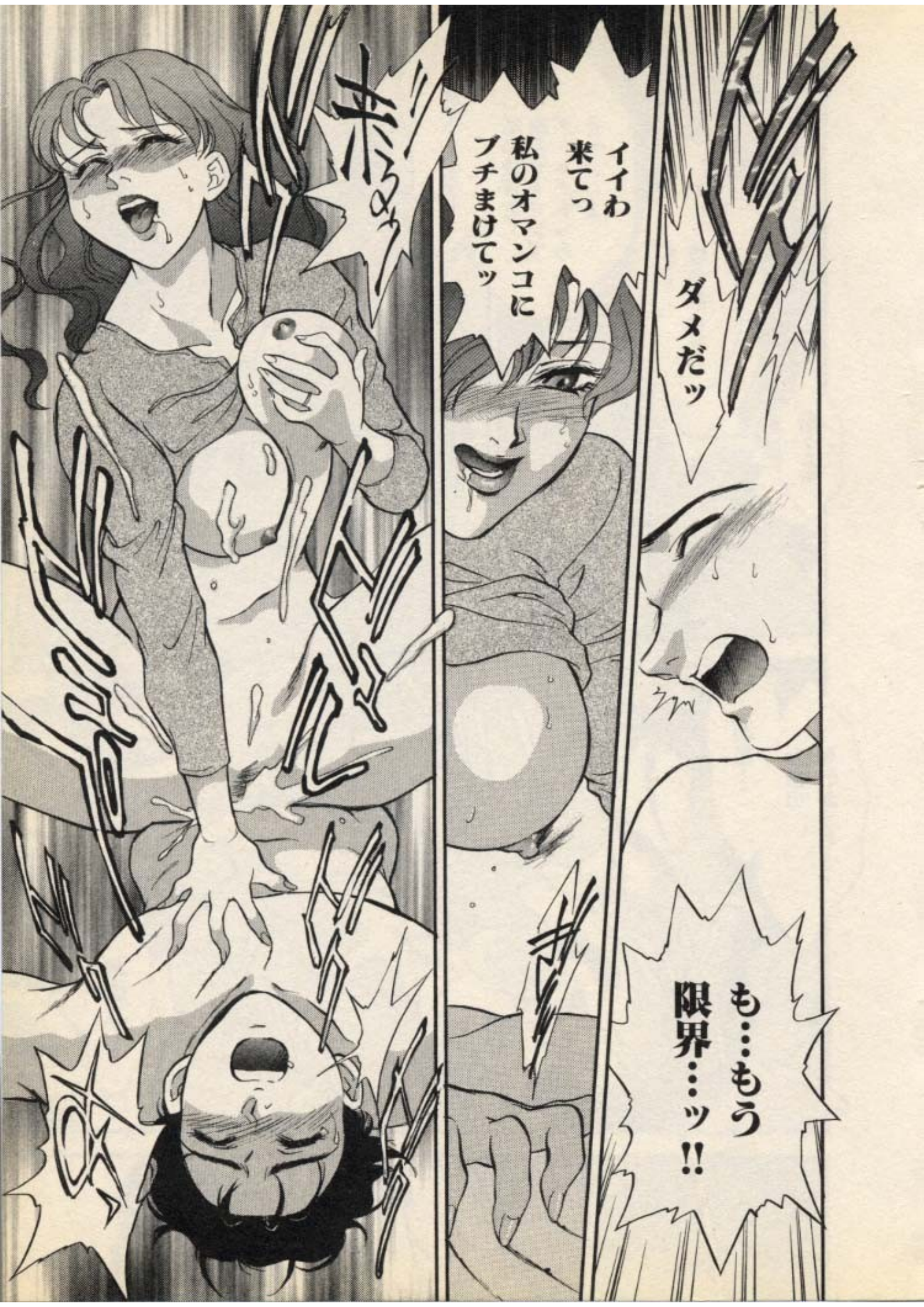
フフ…
ここなら
星を見ながら
できるわよ
あ…
はあ
な、
響…子
さん…っ
な、
あ…

ウフフ
入っちゃった
いいわあ
若いコのチンポォ
固くて
おいしいィ

あ…あのコレは——
イイのよ
だって
夫は
私達のSEXを
見に来たんだもの
さあ…そこに
お座りなさい

そう…そこで
ちゃあんと
見ているのよ
妻のオマンコが
他の男のチンポを
咥えてる所をね
や…やめてッ
こんな…
どうして!?
それは
夫が——
不能だから
あはは
笑っちゃうでしょ
あんな
たくましい
外見なのに
あの男の性器は
文字通り役に
立ちゃしないのよ
ただの
泌尿器なの

だからせめて
己の妻の痴態を
見せてやるのよ
あ
どう？
よく見えて!?
あ…あ
よく見えるよ
赤く充血して
ヌルヌルになった
オマンコが——
なあ
なっ
チンポを
うまそうに
咥え込んで…
とてもイヤらしいよ
そう
イヤラシイのよ
こんなオマンコに
入れられないなんて
哀れなチンポね
ああ…
ああ…
ダメ…ッ
響子さん
僕…僕は
こんな…ッ

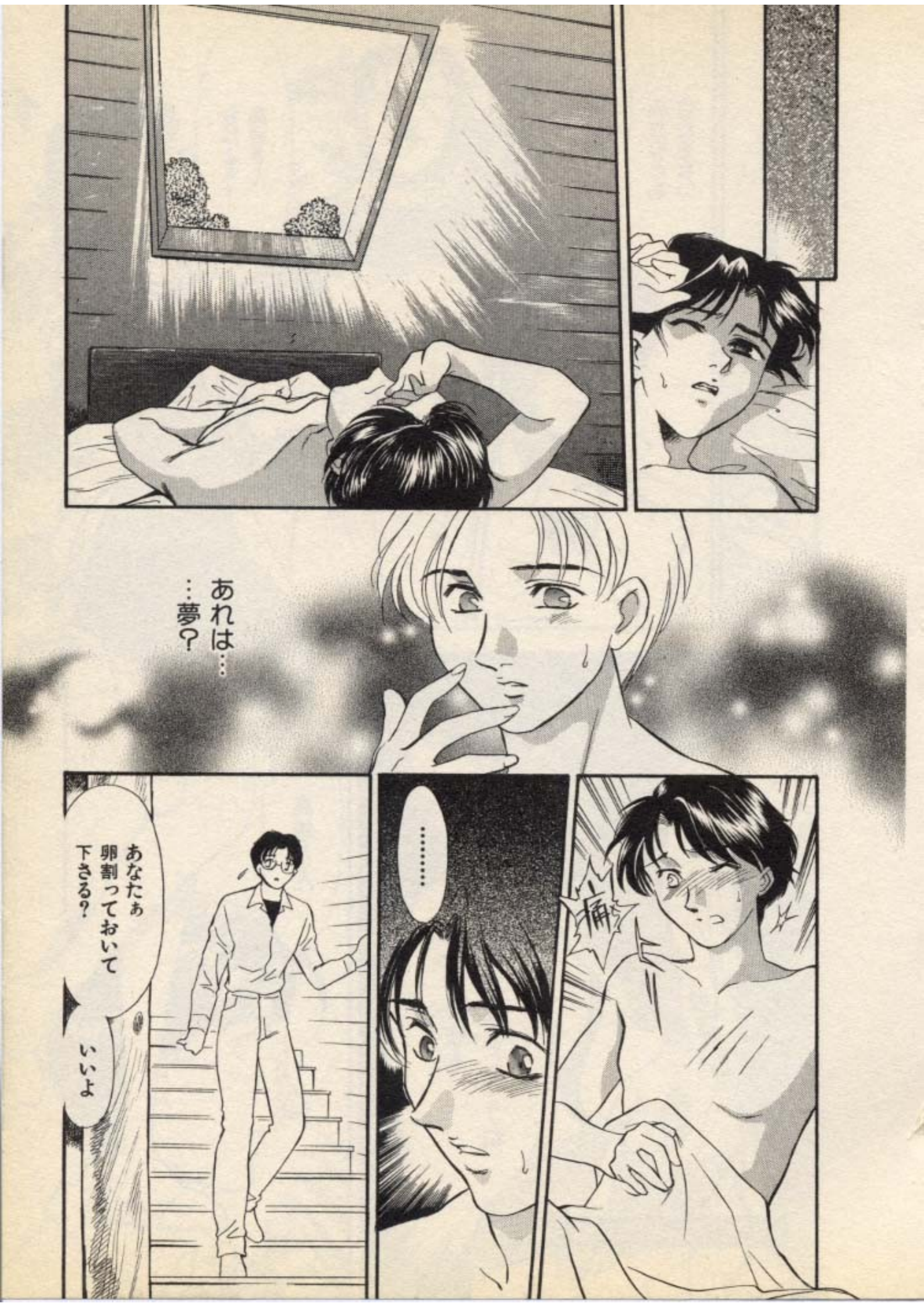


ダメだッ

イイわ
来てっ
私のオマンコに
ブチまけてッ

も…もう
限界…ッ!!

見て…あなた
私の愛液と
彼のザーメンで
グチョグチョの
オマンコよ
さ…
顔をお出し
あ…あ
ホラ
お飲み！
ああ…
お前の
匂いがする…ッ


あれは…
…夢?
……
挿
あなたぁ
卵割っておいて
下さる?
いいよ

おはよう！
高橋さん
早いね
よく眠れたかい？
あ…
は はい…
ふたりとも
何ともない…
じゃあ…この傷は…？
高橋さん
また…今夜も
星空を見ましょうね
ROOF～星空の誘惑～●完

さあ
おしおきの
時間だよ
どうすれば
いいかは…
わかるね?
は…い
おしおきの
やり方は
決まっています
ん…
むう
張りつめたアレを
思いきり奥まで
呑み込むんです

そして──
できるだけ
音を立てながら
吸わねばなりません
~官能の頁~
Book

んっ
はあ…
そしてただ
吸うだけでなく
唇でしごいたり
舌を遣って
転がしたりもします
胸ではさむことも
覚えました
フ…
ずいぶんと
上手くなったな
おや…？
腰をくねらせて
どうかしたのか？
い…いえ
何でも…
…はじめは
嫌だったのに…
はあっ
今では悦びで
肉体の芯まで疼いて
しまうのです——

そ・・が熱く潤んで
ショーツを濡らすのが
自分でもわかります
ボ
ボ
いやらしい
牝の匂いを
させて……
あ…ダメ…ッ
いけないとわかって
いるのに…
んっ
私は…
淫乱な女なので
しょうか?
んんッ
恥ずかしくて
仕方ないのに…
私の唇も舌も
アレをより味わいたくて
嬉し気に絡みつくのです
んむう
指が…ッ
指が勝手に
そ・・に――

…くッ
出すぞ
ふあ…っ

——と
ココまでは
イったのよね——
ふ——
おっ
イイッスね
センセ
この調子で
お願いしますよ
そうしたいのは
やまやまなれど
な——んか
そっから筆が
進まないのよ
ね——
だから…
お願いよ
いつもの——
アレ…ですね

わかってますよ
あ…
こんなトコベランダで…？
フフ…

でも…
誰も気づきゃしませんよ
今売れっコの女流官能小説家が筆止まるたび
やたら発情しては手当たり次第男咥え込むなんて
ムニュ
あ

ぬちゃ
ぬち
ああ…あ
もうこんなに濡らしちゃって
イヤラシイなあセンセ
ホーラ前戯もないのにスンナリと…

んっ
あ
はあっ
ダメですよ
センセ
大声出しちゃ
昼間からベランダで
ハメまくりなのが
バレますよ
うッ
ふんん
お…センセ
そんな締めたら
オレ…
…もう…っ
いいわ
来てえ

…はあ～～～っ

じゃあセンセ
残り早めに
頼みますよ——
任せてッ
カコ
カコ
カコ
うーん やっぱ
SEXすると
能率あがる
わあ〜〜♡
誤解ですッ…
私は何も…
可愛い顔をして
とんでもない娘だわね
まだ
そんな口を
お利きかい!?

こんなものじゃ
すまないわよ
ぷっ
止まった…
……

男は帰しちゃったし
…しょーがないなあ
あ…
奥に
残り汁が…
疼くわあ
はあ
あ
あ…
あッ

あ…あっ
イ…イイ来てる…ッああ
イキそうッもう…少しで
イッ
はーいもおっ
どなたあ？

あ…あの…
ボク…
ファンなんです
美少年(おいしょう)!
一目…お会い
したくて…その
花束(コレ)…お渡ししたら
すぐ帰りますから…
まあッ嬉しい
せっかくだから
上がってちょうだい

い…いいんですか?
お仕事中じゃ…
いいのよ
実はちょっと
煮(に)つまっちゃって
小休止してた
ところなの

ゴメンなさいね
ベッドしか
座るトコなくて
い…いえ
でも…こんな若い
読者がいるなんて…
私のって…ホラ…ねえ?
たっ確かにその
先生の作品って
えっち…ですけど
それだけじゃ
ないってゆーか
奥深いって
ゆーか…
えっちだからこそ
人間性がより
はっきりするって
ゆーか…——
……
その…えと…

ありがと
がんばりがいが
あるわあ
は…いえ…
ねえ…
私の手伝いを
してくれない？
ほんの少しで
いいから…
は…はいッ
いったい
どんな…
ドキドキ

うふふ
準備OKね
せッ先生!?
何を!?
姦(や)らせて♡
あ…イイッ
あッ
ああ

あ…ダメッ
出ちゃううッ
あ…あ
先生え…ッ
フフ…素敵
出したのにまだ
カタイわあ
あ…あイイ
スゴイッ
感じちゃう
私も…もう
イキそうッ

来る…
来るう

下の唇にも
してやろう
許して下さい
それだけは——
あ——ッ
柔肉を張りつめたモノで
荒々しく蹂躙(じゅうりん)され——

その時 私は
悟ったのです
ずっと以前から…
私はこの瞬間を
待ち望んでいたことに——

…あれ？
あ
気がついた？
？
？
あの…ボク
いったい…？
うふふ

手伝ってくれて
ありがとう
おかげで
イイ作品が
書けたわ…
SHARP
Book No.1
POOR

ふふ…
いいわ
素敵よ
あなたの…指

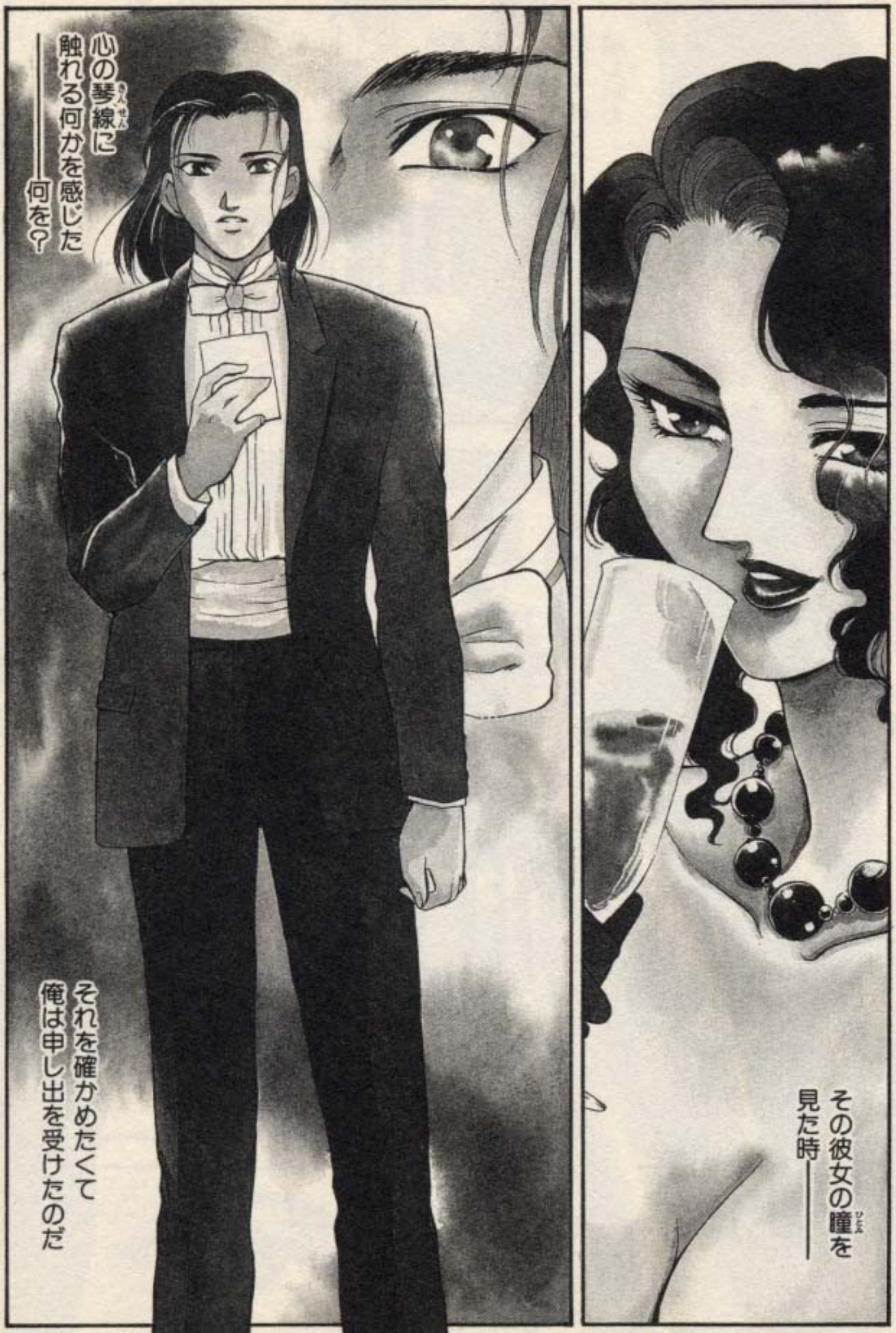
そのしなやかな指で
もっと…私を奏でて
むせかえる
ような吐息
めくるめく
鼓動…そして
あなたの
旋律で…

~蠱惑の旅律~
MOOD
今宵もまた
艶やかな女体が
協奏曲を奏でだす

美しく激しく…
淫靡なフレーズ
重なり
織りあって
音楽を紡ぐ
躰と魂を溶かす音楽で
満たされる日々——

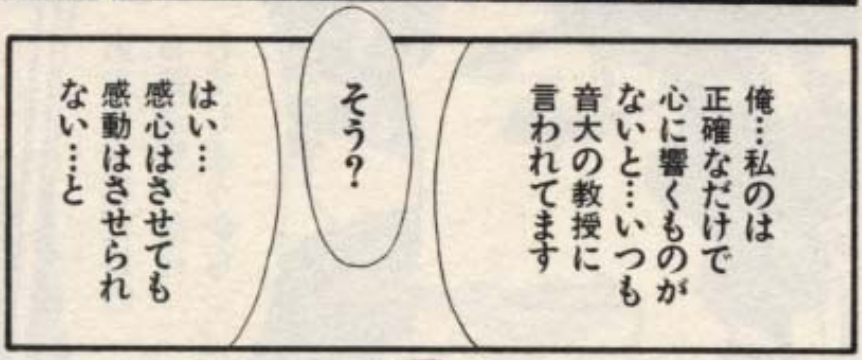
全てはあの夜から始まった――
学費のためにピアノを弾く
ショパンもラフマニノフも酔客のためのBGM――

これをあの
ピアニストに…
はい
けれど
何の酔狂か
そのBGMに
心を留め
バトロンを
申し出る
婦人がいた


その彼女の瞳を
見た時——
心の琴線に
触れる何かを感じた
——何を?
それを確かめたくて
俺は申し出を受けたのだ

来て下さって
嬉しいわ
では…
私のために
弾いて頂戴
私の…ピアノを

楽譜は御覧(ごらん)にならないの？
暗譜は得意なので…
お上手(じょうず)ね
いいえ


俺…私のは正確なだけで心に響くものがないと…いつも音大の教授に言われてます
そう？
はい…感心はさせても感動はさせられない…と

美しい音色(ねいろ)に…

でも…私はあの夜 感動したわ
この美しい指が奏でた——

私は
美しいものが好き
だから…あなたが欲しいの
美しい指で
美しい旋律を奏でる
美しい男――
本当にあなたの
音楽が誰も
感動させないなら
私にとっては
好都合――
あなたを私だけの
自動演奏人形(オートマトン)に
してしまうから
あ!?

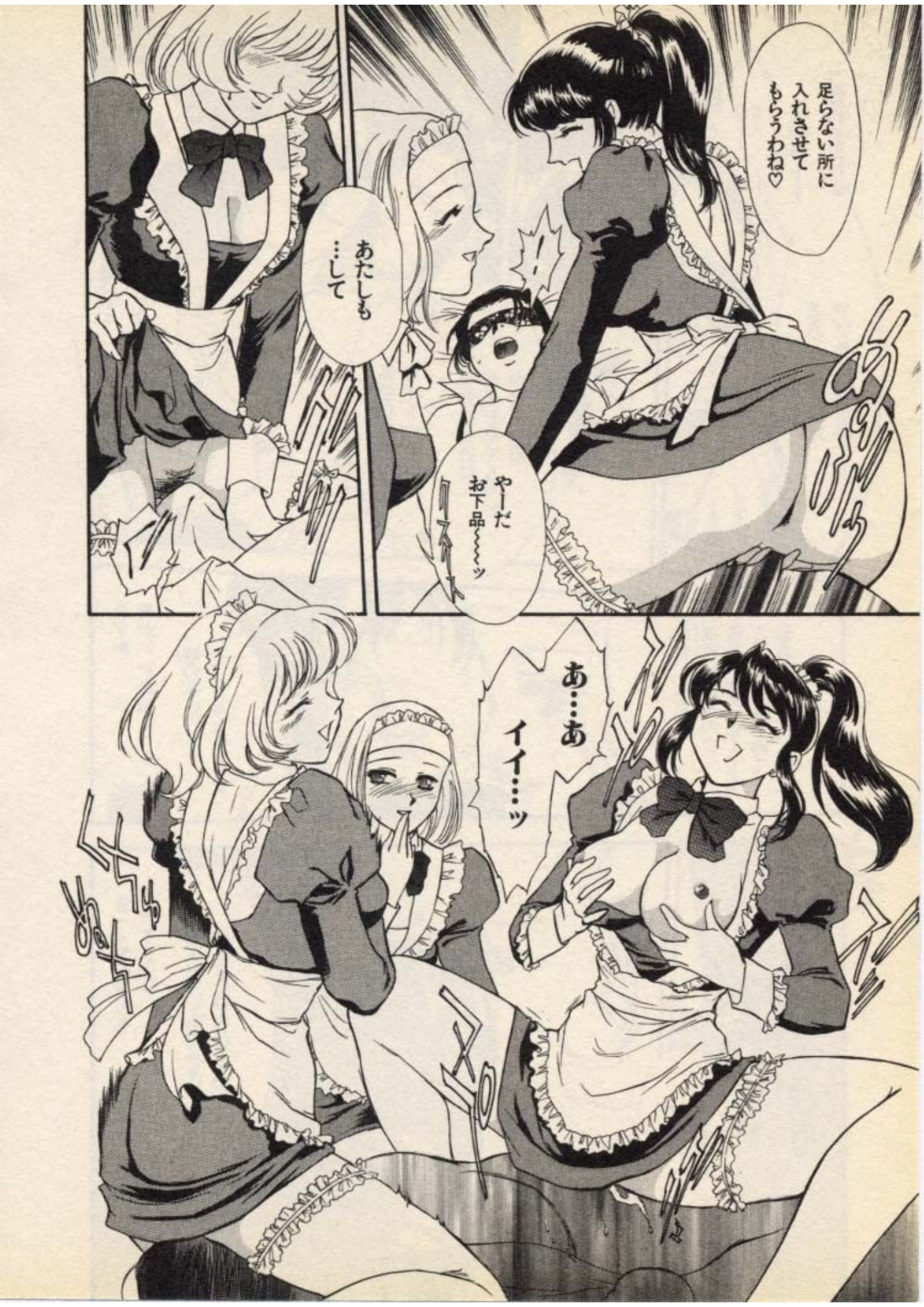
な…
何を!?

ここにいる子は皆
私のコレクション
美しいオルゴールたちよ

ふふ
キレイな男(ひと)…

は…
あ…
ふふ…いいわ
思った通り
素敵な声
美しい音色を
もっと聴かせて
あ…んっ
ちゅ…
ちゅ。

あ
あ
君達は…
何故(なぜ)こんな…
私達は奥様の
オートマトン
奥様のために
音楽を奏でるのが
お仕事なの
!?
その声…!
まさか失踪した
ソプラノ歌手の…
さすが
耳がいいわね…
隣(となり)の子は
バイオリニストよ
あたしたち皆
技術(テクニック)はあるのに
何かが足(た)らなくて…
ここに来て初めて
満ち足りた
きっとあなたも
同じように
足らないものをここで
手に入れられるわ
でも
その前に


足らない所に
入れさせて
もらうわね♡
あたしも
…して
やーだ
お下品〜〜ッ
あ…あ
イイ…ッ

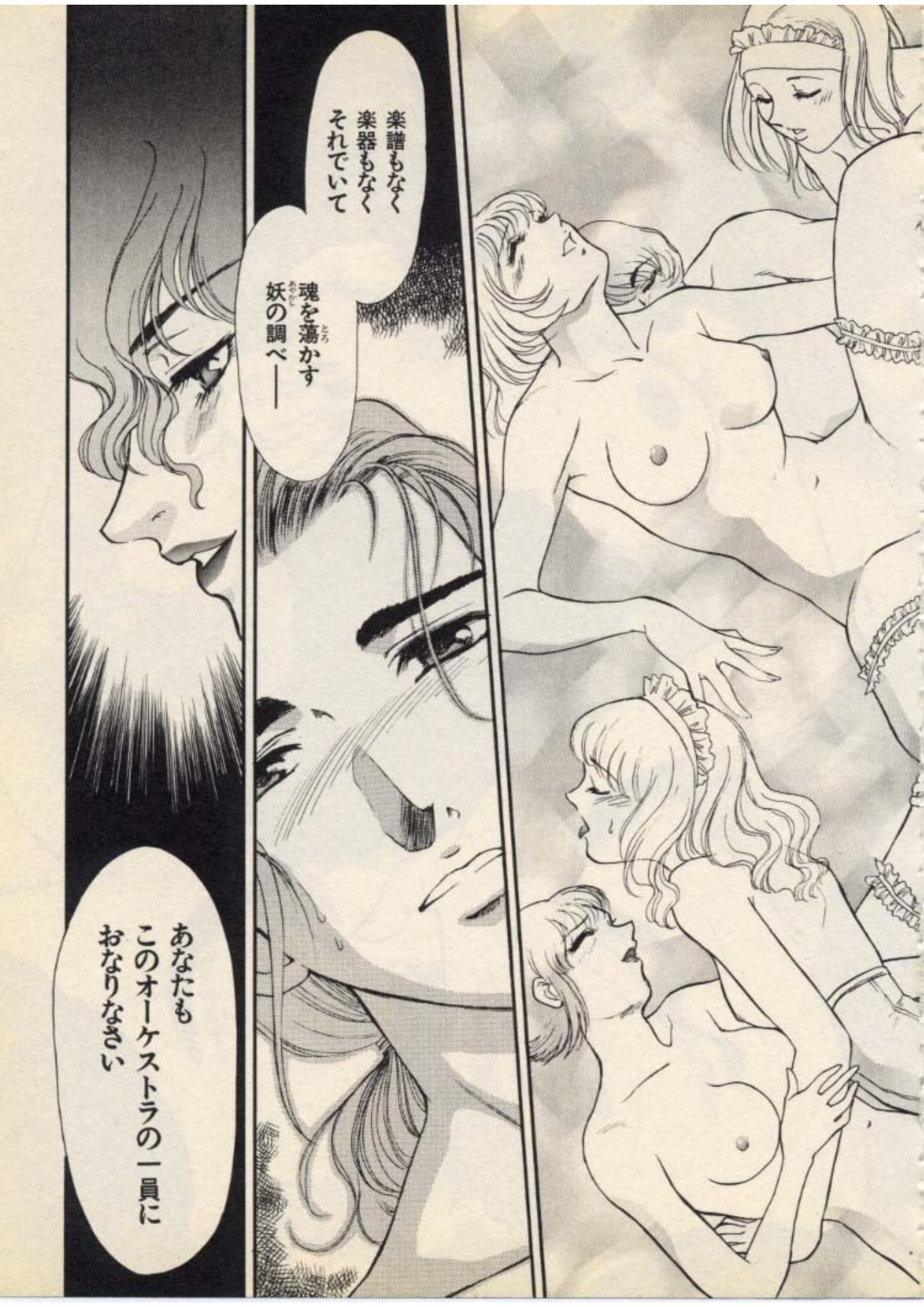
最終楽章（フィナーレ）の
始まり…よ

奥…様
あ

…ㅋㅋ

揉んで
私の乳房
その
美しい指で
そう…
いいわ
あ…あ
あなた達も…
一緒にハーモニーを
奏でなさい
はい 奥様

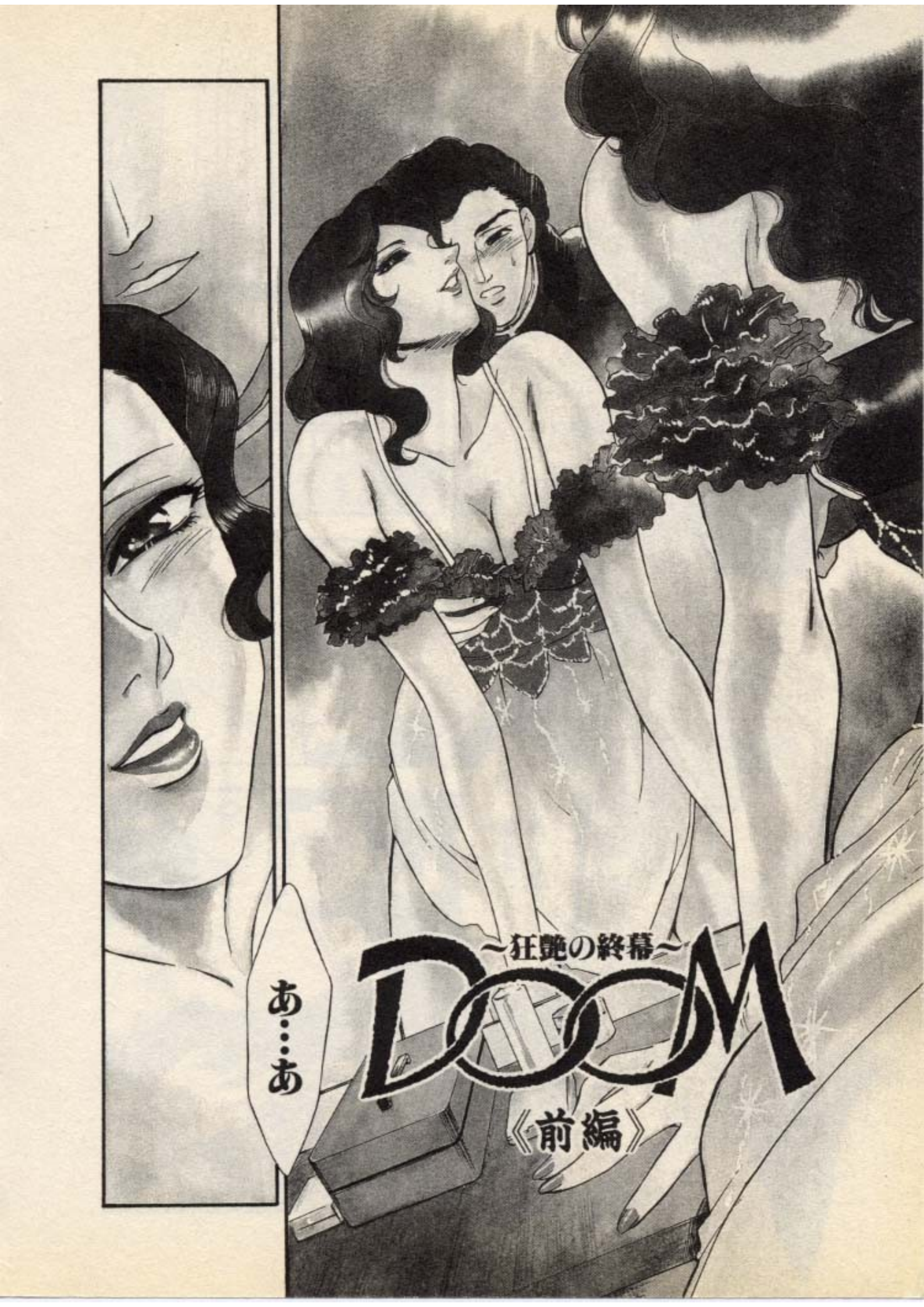
御覧なさい
ここにはあなたが
求めて得られなかった
ものがあるわ
聴こえるでしょ
悦(よろこ)びの
交響曲(シンフォニー)——


楽譜もなく
楽器もなく
それでいて
魂を蕩かす
妖の調べ——
あなたも
このオーケストラの一員に
おなりなさい

素敵な
調べね
奥様

MOOD～蠱惑の旋律～●完

雪路麗華様
控え室
フフ…
イイわよ…
麗華(れいか)サン…
俺…もう


あ…あ
～狂艶の終幕～
DOOM
《前編》

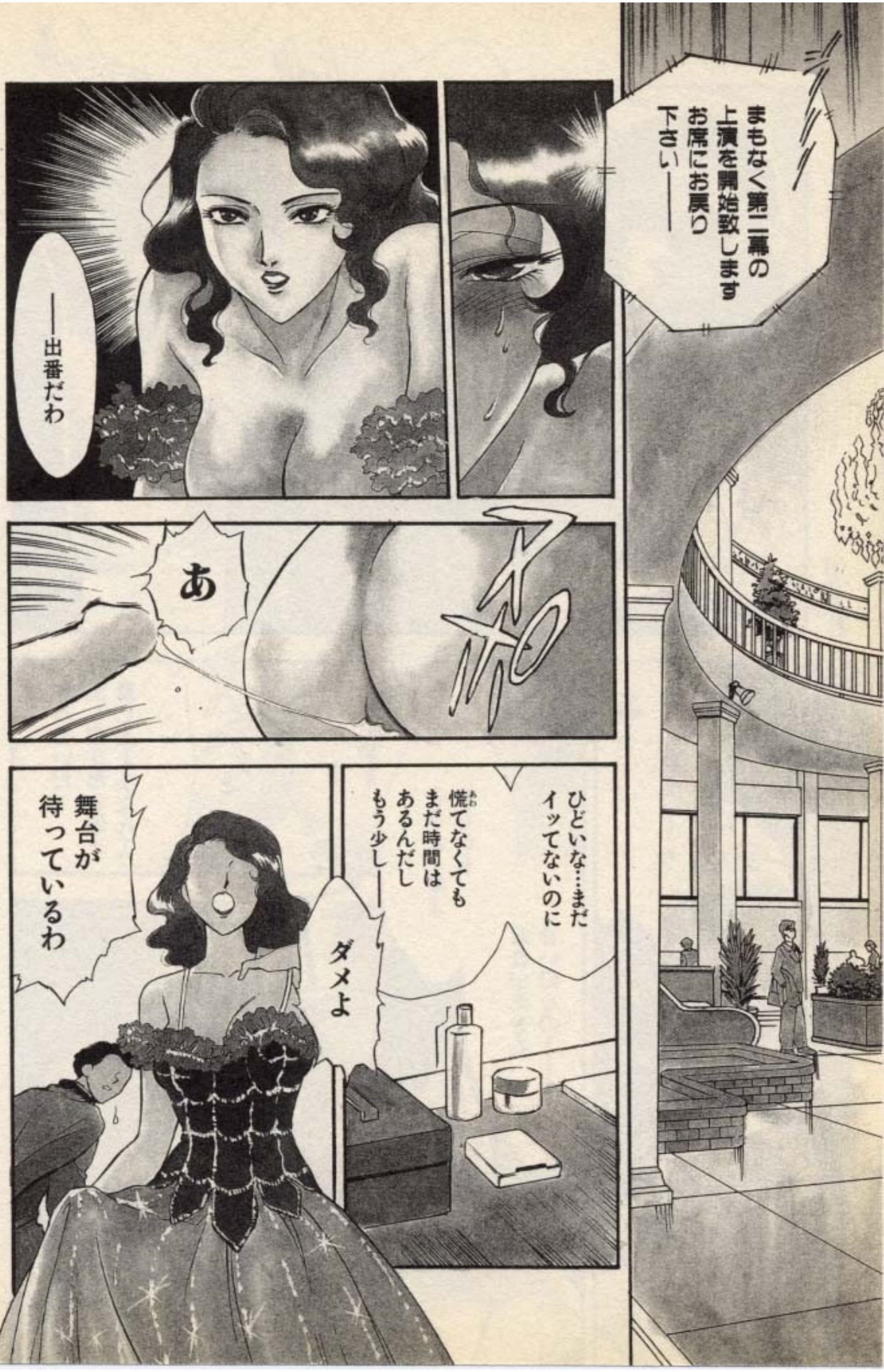
麗華サン…
ステキだ
俺…本気に
なりそうだよ
嬉しいわ
本気で愛して
…今だけは
だって
舞台の上では
恋人同士なの
だから——
ああ

イイ…ッ
もっと深く
貫いてえ
ステキよ…
あなた
本当に…

あ…あ 最高だ
麗華サンの…ココ
熱く…とろけて

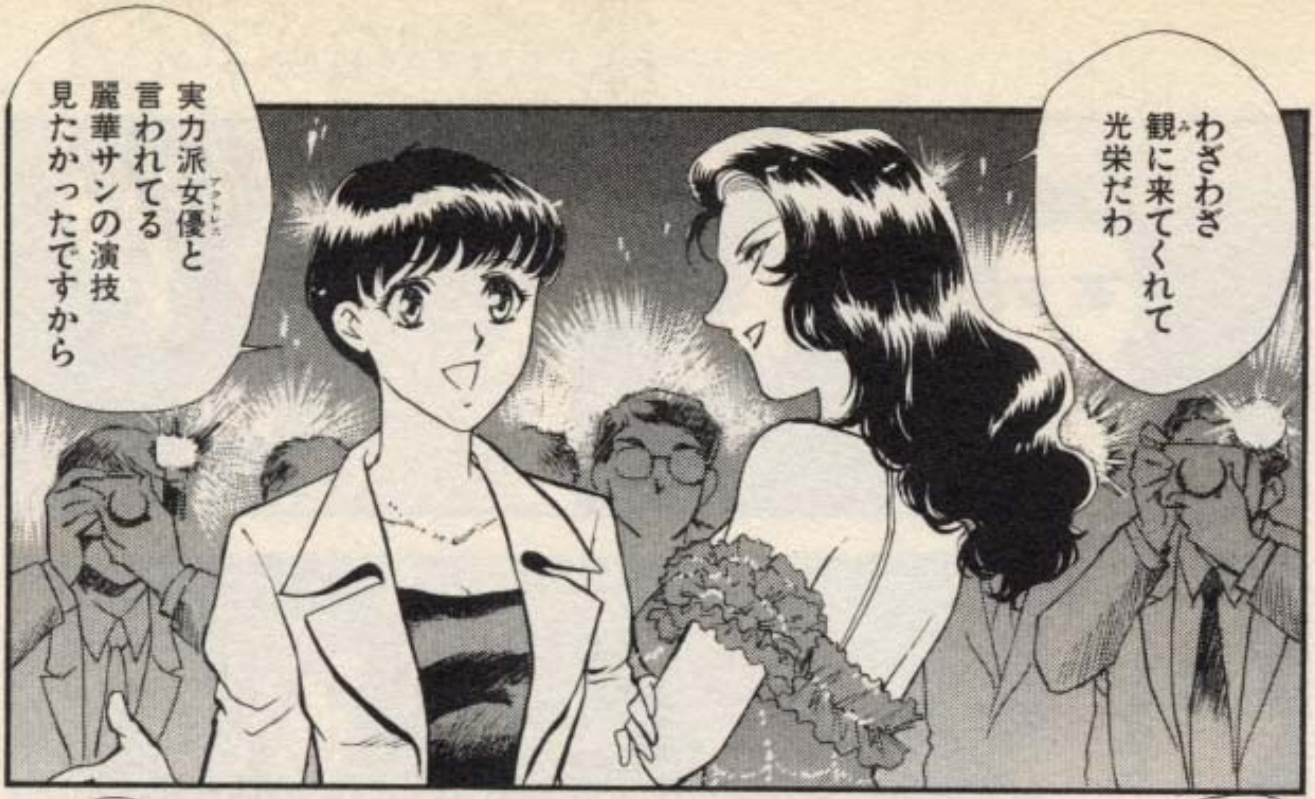
夢みたいだ…
麗しの花形女優と
愛しあえるなんて
そうよ…夢よ
何もかも
舞台が見せる
甘い幻なの——

あ…
イキそう…ッ


まもなく第二幕の
上演を開始致します
お席にお戻り
下さい——
——出番だわ
あ
ひどいな…まだ
イッてないのに
慌てなくても
まだ時間は
あるんだし
もう少し——
ダメよ
舞台が
待っているわ

成功 おめでとう ございます
ありがとう ございます
今回の公演も 記録的な大ヒット でしたね
素晴らしい 舞台でしたわ

ジュン 感動しちゃいました
パパやママの舞台ほどじゃなかったケド
おおッ
夏樹ジュン！
芸能一家で育った
生粋のアイドルスター！


わざわざ
観に来てくれて
光栄だわ
実力派女優と
言われてる
麗華サンの演技
見たかったですから

次の舞台での
共演…
今からすっごく
楽しみです

じゃあ
リハで
お会いしましょう
ジュンさん
少しお時間を
次回作について
何か一言…

生意気な子！

どうして あんな子と共演しなくちゃいけないのよ!?
仕方ないよスポンサーの意向なんだから

プロデューサーの力じゃ どうにも出来ないよ

だからって…何もサブヒロインやらせなくったっていいじゃないの

そうはいかないよ相手はあの夏樹ジュンだ
両親の七光といえども人気はハンパじゃない

実際 彼女を主役に…とゴネられて困ってるんだ
わかってくれ…頼むよ

……
いいわ

その代わり
主役は絶対
この私よ
もちろんだよ
劇団の女王は
雪路麗華
キミしかいない
にちゃ
わかってるなら
いいのよ

女王は この私——
実力のない小娘に
そのへんを じっくり
わからせてやるわ——!!

ジュンさん
どういうつもり!!
いったい どんな
解釈で演技
してるのよ!?
お気に障ったんですかあ
でも…あたしにはあたしのやり方があります

いいこと?
舞台はあなた
一人のモノじゃ
なくてよ!
主役の私と
脇のあなたが
呼吸を
合わせなくちゃ
ならないの

芝居をぶち壊しに
するつもりなら
さっさと舞台を
降りて
TVでも何でも
お好きな仕事に
お就きなさい!

……
センス
古いんですネ
な…！
それとも
やっかみかなァ？
どっちにしても
カッコ悪いですよ
麗華サン
ジュンさん!!
ま…ま
落ち着いて
ひとまずここは
ジュンくんの
演り方でいこう
でも…
一通りやって
流れを見てから
考えよう
ディレクター
話せるう
やっぱアタマ
柔らかいんですネ
…！

キャッ
何するんですか!?
フフ…
カチャ
言ったでしょ?
私とあなたが
呼吸を合わせなきゃ
ダメって
そのために
わかりあわなきゃ
いけないの

わからせて
あげるわ
真の主役が
誰かを…ね

ホラ
しゃぶりなさい
い…いや
つべこべ言わず
頬張(ほおば)んなさい！
ん
んん
クス
いい顔ね
よおく
濡らしておくのよ
すぐに下の口へ
ねじ込んであげるから

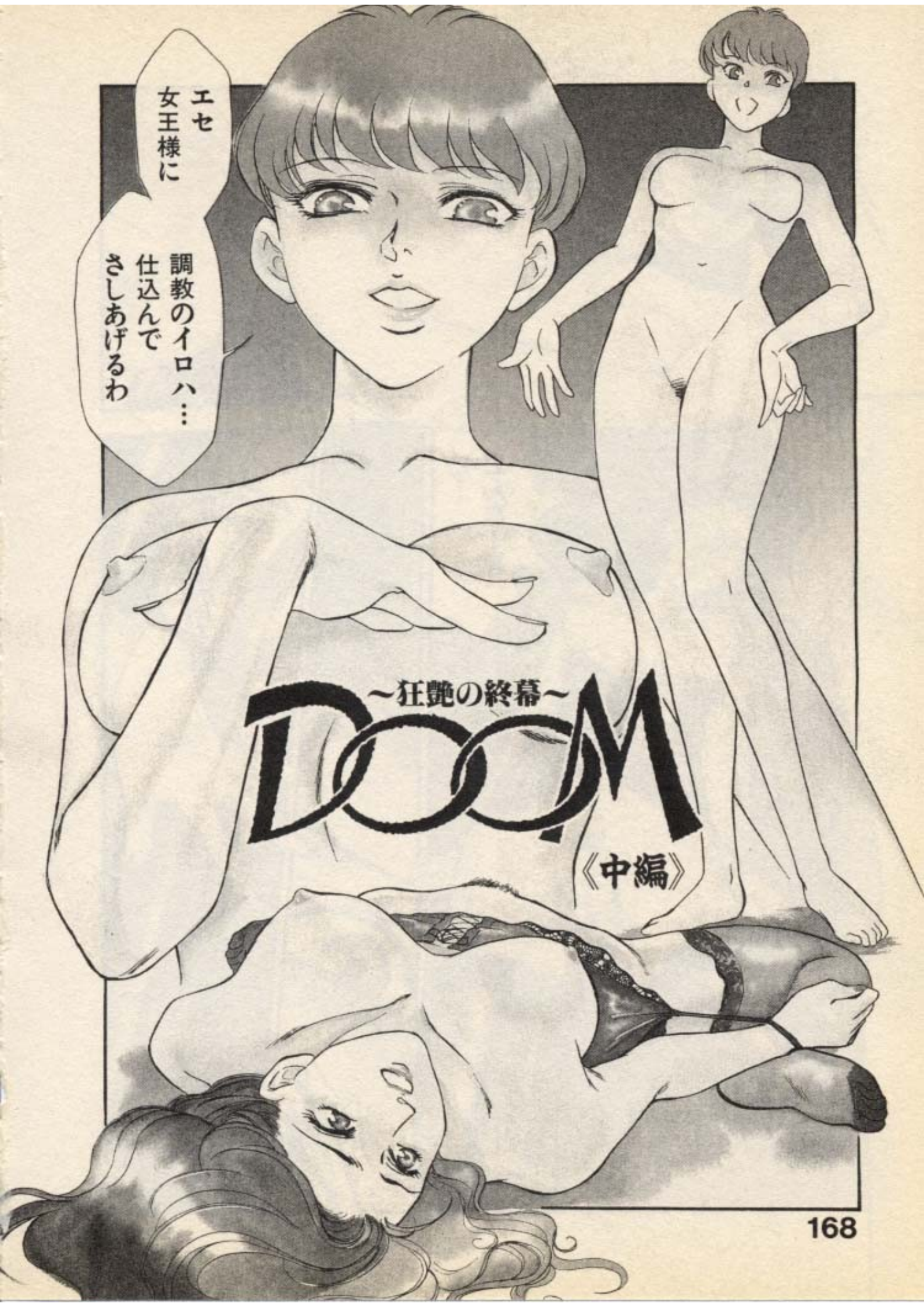
さて下の口の準備もしなきゃね…あら？
おしゃぶりで濡らすなんて
下準備なんて必要ないわ…ネッ
なぁにコレぐっちょりじゃない
あ…やあ
ああ

結構使い込んで
あるじゃない
可愛い顔して
たいしたタマね
…ははァン
ディレクターや
スポンサーとも
ヤッちゃったの？
親の力
プラス
若い肉体で
怖いモノ
ナシってわけ
イヤ…ダメェ
麗華サァン
なぁにが
ダメよ
こんな
腰振ってて

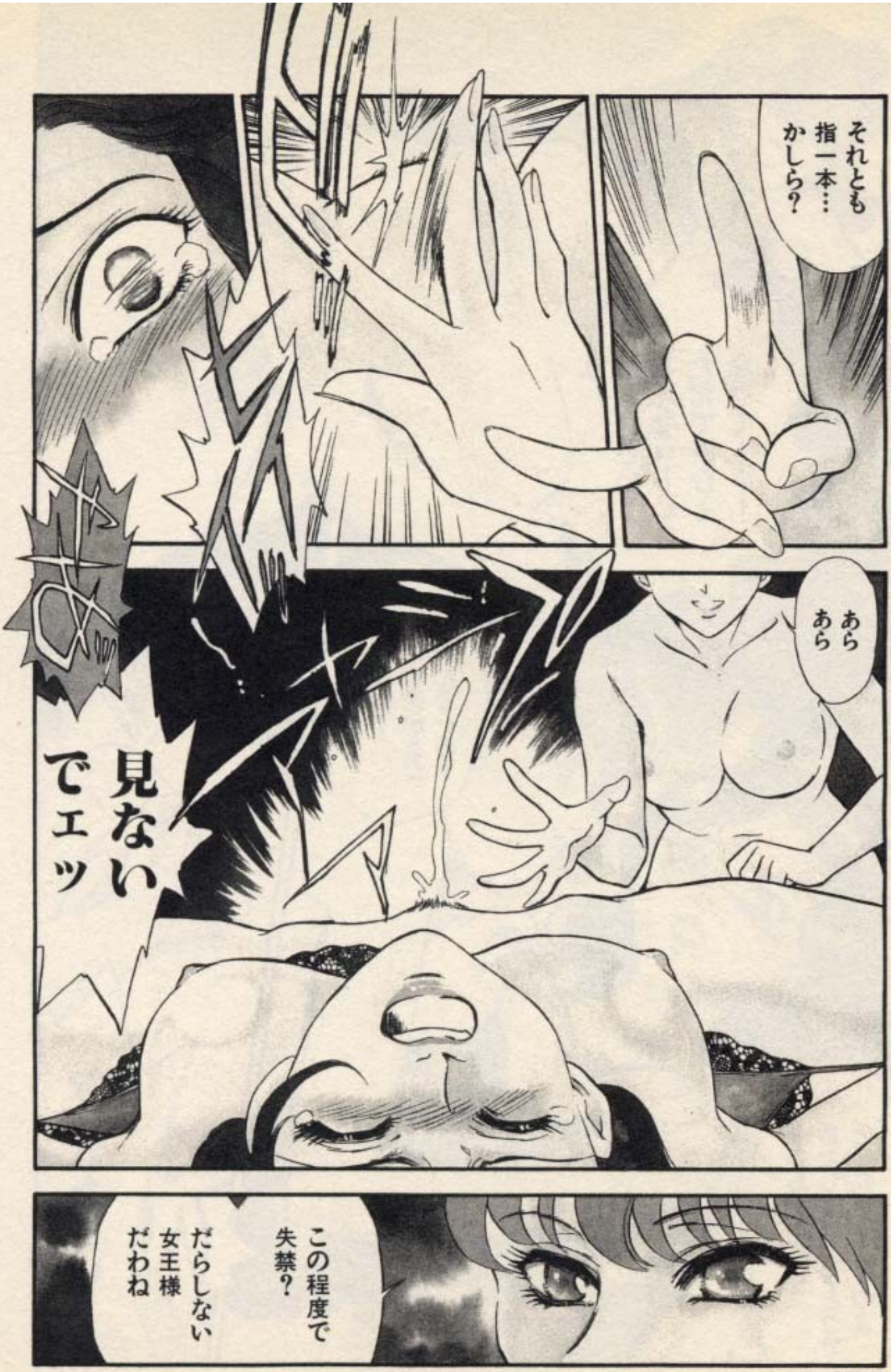
フフ…
感じるでしょ？
いいのよ
もっと悶えて
ああ
あっ
女同士だもの
どうしたらイイか
ツボは心得てるわ
男では味わえない
素敵な快楽で
あなたを下僕に
してあげる
麗華サン
麗華…
ああ

フフ…
他愛ないものね
そうして大人しくしてればいいのよ
あたしと寝て虜にならなかった者はいないわ…
…男も女も
あなたもこれからせいぜい可愛がってあげる
なあんだこの程度？
じゃあ今度はあたしの番ネ
手なずけるってどんなコトか…教えてあげるわ
《中編につづく》

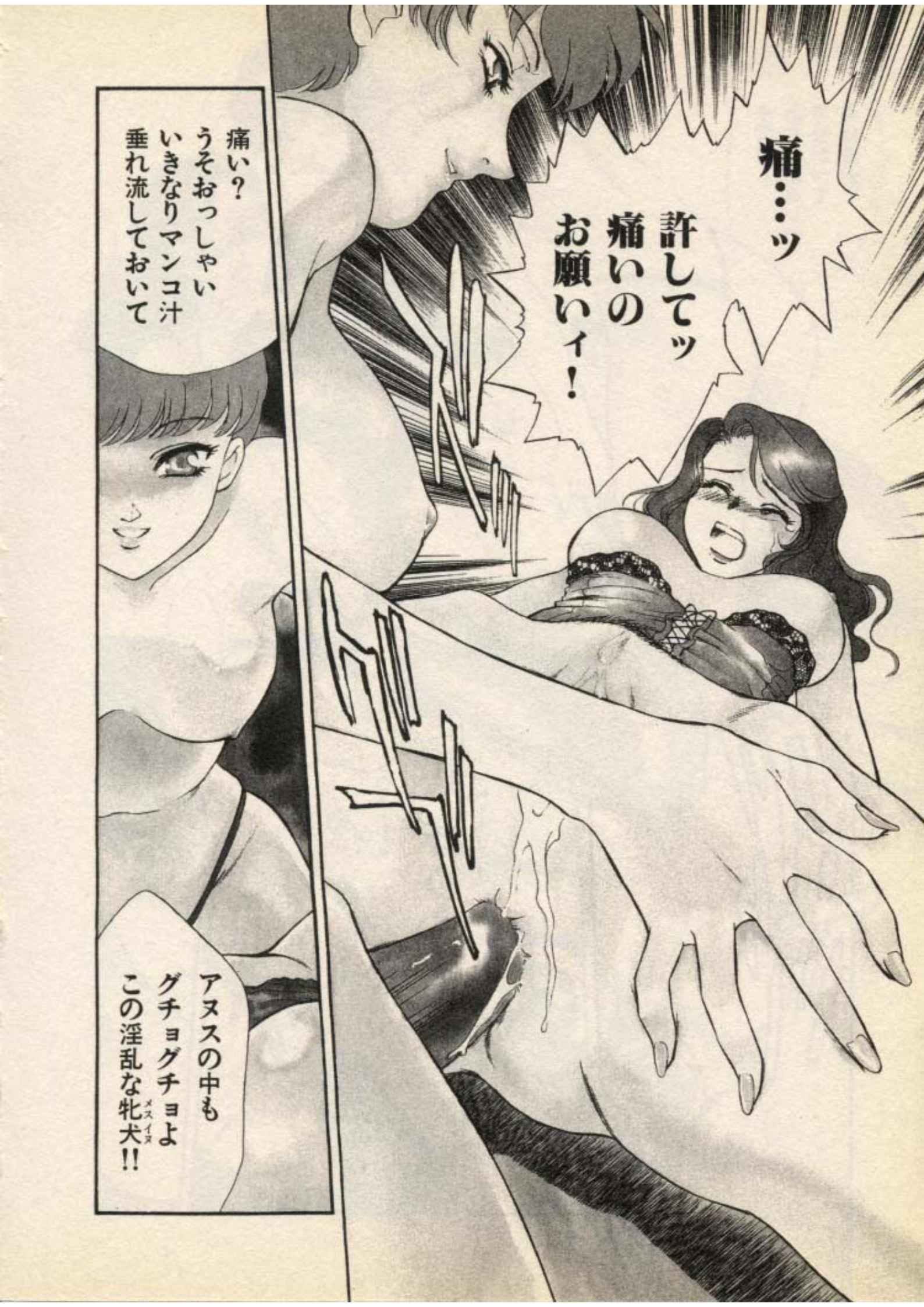
こ…
こんな…!?


エセ女王様に
調教のイロハ…
仕込んで
さしあげるわ
～狂艶の終幕～
DOOM
《中編》

離しなさい！
こんなコトして
ただで済むと
思って――
あったま
悪いわねー
この状況がまだ
わかんないの？
お黙りなさい
ひッ
今のあんたは
あたしの考えひとつで
どーにでもなるのよ


それとも
指一本…
かしら？
あら
あら
見ない
でエッ
この程度で
失禁？
だらしない
女王様
だわね

今度は
あたしがコレで
可愛がって
あげるわ
ただし
アヌスの
方をね
!?
やめ…!

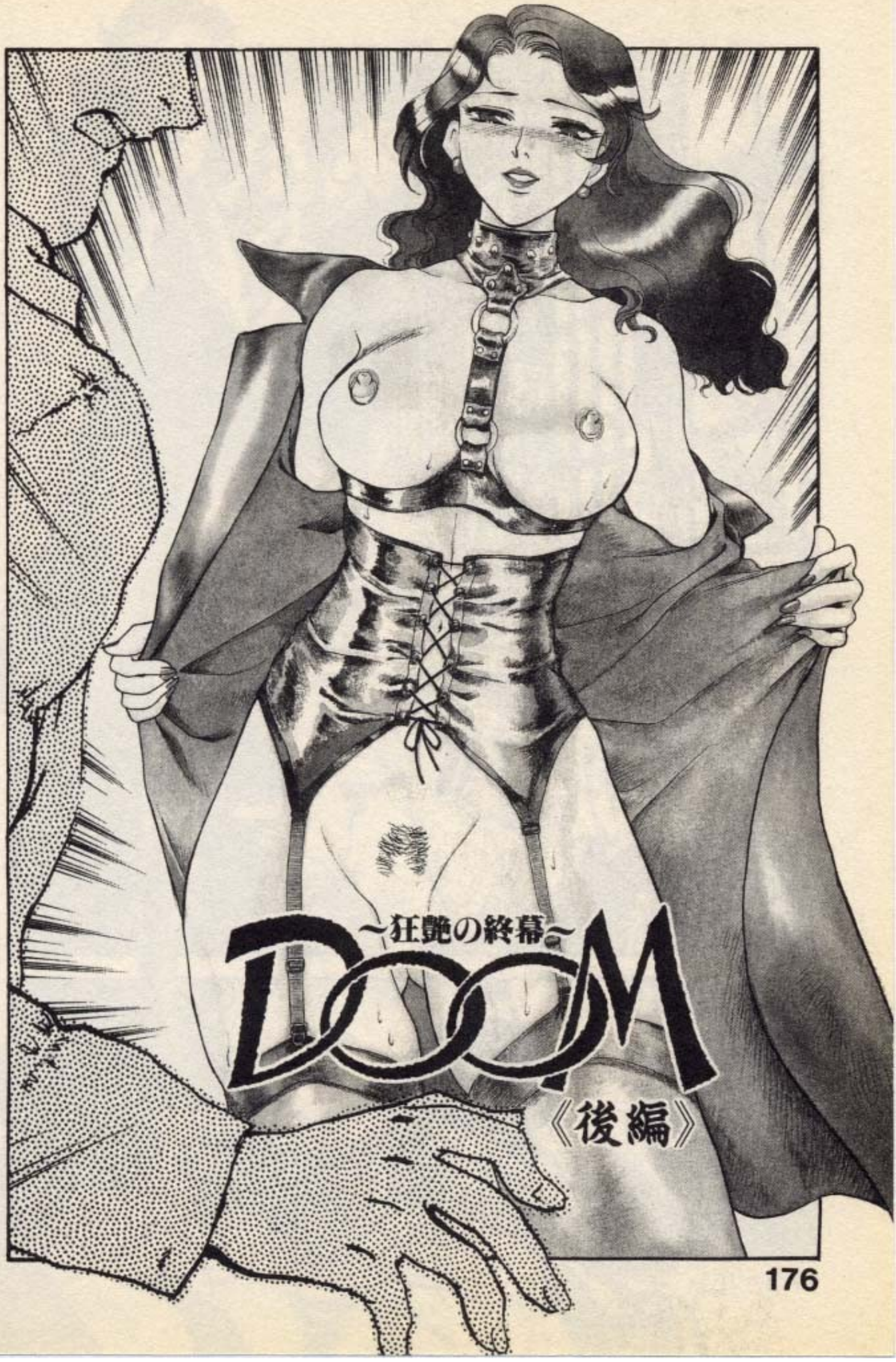

痛…ッ
許してッ
痛いの
お願いィ！
痛い？
うそおっしゃい
いきなりマンコ汁
垂れ流しておいて
アヌスの中も
グチョグチョよ
この淫乱な牝犬(メスイヌ)!!

ぬちゅ
マンコにも
入れてやるわ
…三本…四本
楽々じゃないの
…フフ
ホォラ 手首まで
入るわよお
死…ぬうッ

——どうだった？
苦痛ギリギリの
官能の味は…？
まさしくツボを心得た
女でないと与えられない
極上の悦びよ…
さ…麗華ちゃん
御感想は？
もっと…もっと
可愛がって
下さい
ジュン様…
…ふふふ…
素敵…
こんなの初めて
素直ね…
これからもっともっと
堕としてあげるわ
ふふ

《後編につづく》

benetton BAR
Panasonic


～狂艶の終幕～
DOOM
《後編》

あ
ああ!?
ね…
視(み)て…
ホラ…
奥まで
覗(のぞ)いて
私の…躰(からだ)…
ぐちゅ

息がかかるくらい
近くで…見て
どう…？
私の…オマンコ
スゲ…
エロいよ
オネーサン
グチュグチュに
濡れまくって…
たまんねえ…
オレ…もう
こんなに…
見せるだけで
おしまいってのは
ナシだよねえ？
ええ…
お楽しみは
これから…よ…

はあ
いいの…
チンポもっと
しゃぶらせてえ
は…
たまらないの
このにおい…ああ
キレイなカオして
イヤラシイねえ
オネーサン
通りすがりの
チンポに
むしゃぶりついて
見ず知らずの
男のチンポ
美味しいの？
本当に
淫乱だなあ

じゃ…下の口でも
おしゃぶりして
もらおうかな
すごく飢えてたん
だね こんなに
絡みついて…
恍惚としちゃって
そんなにイイの？
オネーサン？

イイ…ッ
イイの…ああッ
淫婦(ヴァンプ)役が板についてるわね大女優サン

フフ…
精液まみれよ
ココもこんなに
あふれさせて…
そんなに
よかったの？
は…はい
ふふ…
お前は本当に
淫乱ね
もっともっと
堕ちていきなさい

しっかりして
メラニー
きっとよく
なるわ
スカーレット…
頼みがあるの
何？
何でもするわ

子供を…
お願い
わかってる
ヨーロッパの
学校へ
通わせるわ

それから…
アシュレーの
こと…
！

面倒見て欲しいの
彼には内緒で…
…ええ…
…シッ
わ…
わかったわ
必ず…見る…
…か…ら
ストップ
ストォップ！

どうしたの
麗華クン
先刻から
す…
すみません
麗華サン
体の具合
悪そうなんです
握った手とか
熱っぽくて…
ムリしてる
みたいで
じゃ
もう一回…
待って
下さい
少し…休憩入れて
頂けませんか
仕方ないな…
じゃ 休憩に
するか
しばらく
横になると
いいですよ
あたし…
控え室へ
付いて行きます

さ…
着いたわよ
麗華
これしきで
音をあげちゃ
面白くないわ
MAXまで
イッてない
のに…
CLICK!

お願いです
もう…許して
こんなこと…
これじゃ
芝居なんて
とても…！

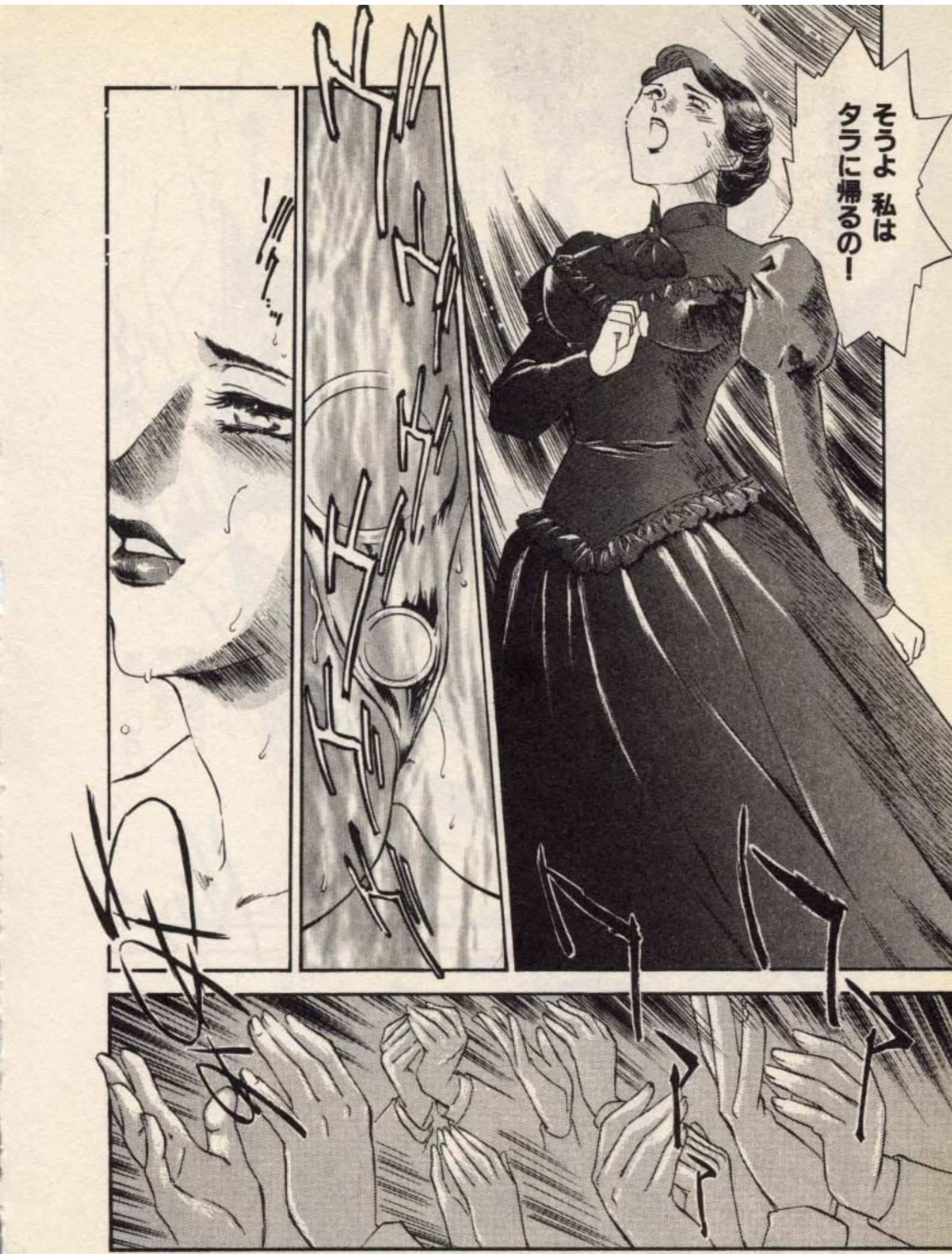
でも……
いつものプレイより感じたでしょ？
いつバレるかヒヤヒヤして…そのスリルがさらに快感を呼ぶ……
……

いっそ…バラしちゃおうか？
お前が実は舞台の上でもバイブハメ込んでヨガってる淫乱だってコト
そッそんな…!!

フフ…
まあ いいわ
本番でもバイブ
くわえ込んだまま
演技してもらうわ
マンコにも
アヌスにもね
…!
本番中に
バレたら…
お前はもう
おしまいよ
なんたって
TV生中継で
恥態が全国にオンエア
されちゃうもの
フフフ…
スリル
あるでしょ
じゃ…
本番も
しっかりね

行かないで
私どうしたら
いいの!?
もう
関係ないね
レット
待って!
ああ…
行ってしまった
どうしたら
いいの…?
何も…
思いつかない

あ…！
そう…よ
タラ…
私には
タラがある
タラに…故郷に
帰るの…よ
ああ…ひどい
もうすぐ
終幕なのに…
イキそう…
…ダメ
こんな所で
イッたら…
ダメ！
我慢
しなきゃ！
タラに行きさえすれば…
きっと…上手くイクわ…！


そうよ 私は
タラに帰るの！

イイぞ
上出来だ
この歓声

さあ
カーテン
コールだ！

ああ…
イキそう……
もうダメ…ッ

はあ

早く…
早く
終わって…！

フフ…もう
我慢の限界？
よくがんばったわよ

——でも

もう幕にしましょう

ダメ…
もう
ダメェ
あ——ッ
イクう
イクのォ
観(み)て…
イクとこ
観てえ!!

DOOM～狂艶の終幕～●完

あとがき

えじいあきこ

おかげ様で、○○シリーズ最終巻がまとまりました。本当にありがとうございます。今回は描き足しが少なくて、ちょっとバタバタしてしまいました。いえ、枚数はそう少くはないのですが、全部彩色（といっても2色）しているので、その手間が…。Hip掲載時に4色と2色の間に1頁広告が入ります。そこを単行本化の際には描き足す訳ですが、やはりせめて2色（赤と黒）で作らないと異和感が出そうな気がして…。どうせ白黒なのだから、薄墨を使って1/3分解すれば同じになるハズなのですが、そうなると赤と黒の混色部分をどう表現すればいいのかわからなくて、仕方なく2色使ってます。ちょっと作業中虚しい気分です。というのも描き足した原稿（今回は8頁）は、描いた本人の私と、その夫、そして編集サンと印刷所の方しか完全版を目にしない…というコトですから。しかも、果たして2色で彩色した成果がちゃんと出ているものかどうかあやしい…。やっぱり、薄墨の方が手間かからない分、よいのか？　2色で塗るのは無駄なのか??　皆様の御意見・御感想をお待ちしております。

では…コレからもなにとぞヨロシクごひいきに…。

『OOIII～愛欲の黄金律～』後書き

お初の方にははじめまして、おなじみの方には毎度どうも。人に優しく地球に優しく、そして自分にはもっと優しい雑文屋・秋山道夫でございます。皆様の温かいご声援に支えられ、ここにこうして『OO』シリーズの最終巻をお届けできます事は、私ども夫婦にとっても実に感無量な事であります。思い起こせば三年前。当時、結婚したばかりで特に連載も抱えておらず、そのまま行けば専業主婦への道さえ夢ではなかったはずの愚妻・ふじいあきこを、義理と縁故からヤングHIP編集部に売り飛ば…もとい紹介したのは、他でもない亭主であるこの私でした。とある事情により、しばらくコチラの業界から遠ざかっていた愚妻を、あえてエロマンガに復帰させた事で、人は私を馬鹿亭主とも助平親父とも呼ぶかも知れません。しかし、家計のためという切実な理由もさる事ながら、愚妻ほど猥褻極まりないマンガを描ける「作家」が、みすみす平凡な専業主婦に収まってしまうなど、亭主としてより同じ業界人としてとうてい見過ごす訳にはいきませんでした。それが、はたして最善の選択だったか否か。それは読者である皆様の判断を仰ぐしかありませんが、少なくともこの本を手に取り、お買い上げいただき、そして役立てていただけた方であれば、必ずやご賛同いただけるものと密かに確信しておる次第です。

秋山道夫

WANI MAGAZINE COMICS 383

ISBN4-89829-383-2

ダブルオースリー 003愛欲の黄金律

■著者——ふじいあきこ

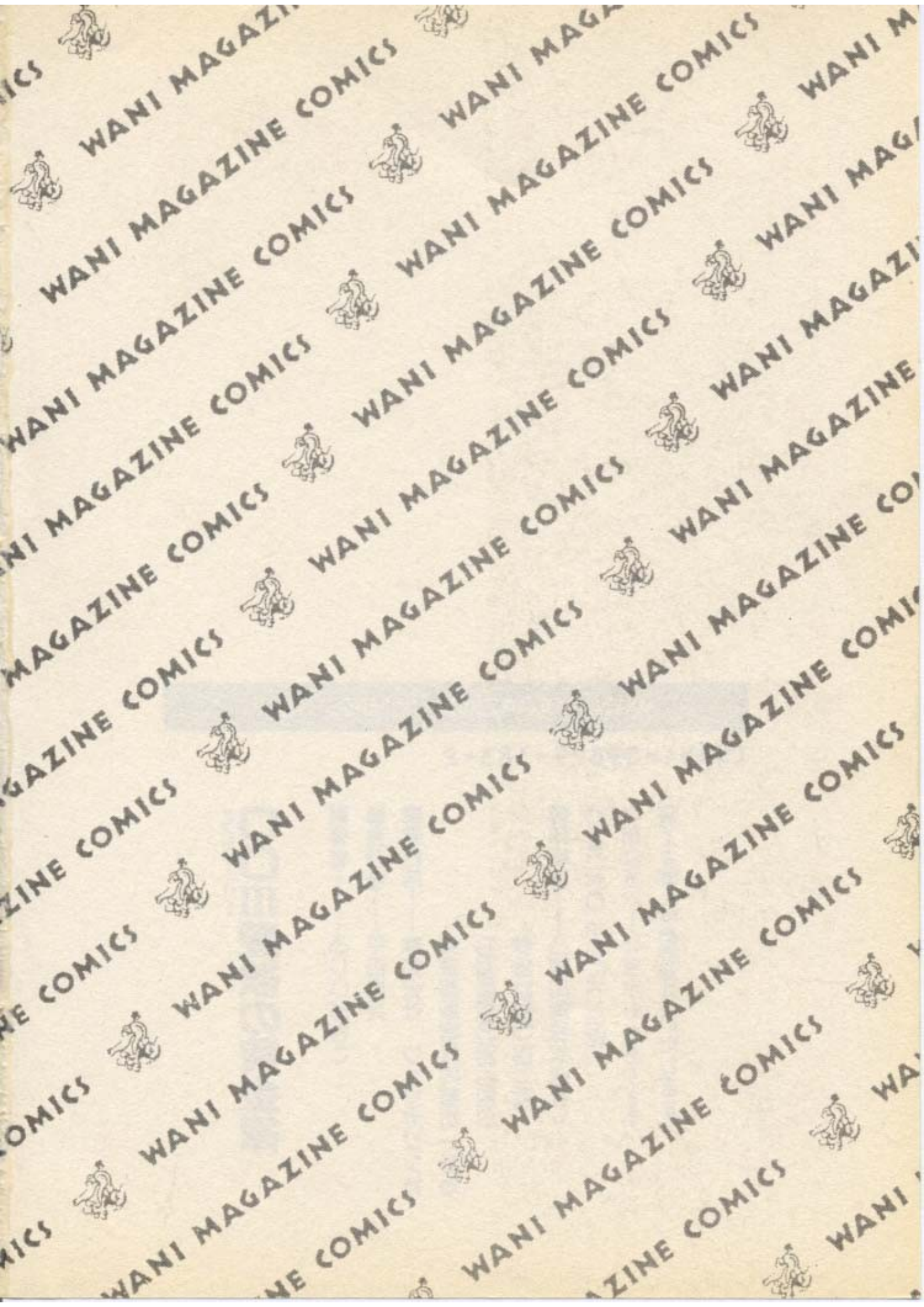
■発行者——平田昌兵

■発行所——株式会社　ワニマガジン社
東京都新宿区内藤町一番地
(郵便番号160-8580)
☎03(3357)2911(代)

■印刷所——凸版印刷株式会社☆

©AKIKO FUJII 1999

定価はカバーに表示してあります。
落丁・乱丁はお取替えいたします。


WANI MAGAZINE COMICS

WANI
MAGAZINE
COMICS

ダブルオースリー

W3 愛欲の黄金律

ふじいあきこ

AKIKO FUJII
with MICHIO AKIYAMA

W3

C383★
ワニマガジン社

胸ときめくドキドキ傑作！

心地よい妄想でいっぱい

陽気婢の超ヒット作品

［えっちーず①-④巻］

［2×1］

［彼女の自由］

特選おもしろコミックス

［TWIN SPARK GIRLS①-②巻］桐生知彦

［水の誘惑①-②巻］氷室芹夏

［霊能探偵ミコ①-⑥巻］井荻寿一

ワニマガジン・コミックス383

ダブルオースリー
OOIII愛欲の黄金律

1999年7月1日　第1刷発行

著　者　ふじいあきこ with 秋山道夫

発行所　㈱ワニマガジン社

☎03(3357)2911(代)

ISBN4-89829-383-2

C9979 ¥505E

雑誌 53812—83

定価：本体505円＋税

ワニマガジン社